

Dell Latitude 7370

オーナーズマニュアル

規制モデル: P67G
規制タイプ: P67G001



メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすいするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2016 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2016 - 03

Rev. A00

目次

| | |
|--------------------------------------|-----------|
| 1 コンピュータ内部の作業 | 7 |
| 安全にお使いいただくために..... | 7 |
| コンピュータ内部の作業を始める前に..... | 7 |
| コンピュータの電源を切る..... | 8 |
| コンピュータ内部の作業を終えた後に..... | 8 |
| 2 コンポーネントの取り外しと取り付け | 10 |
| 推奨ツール..... | 10 |
| micro-SIM（加入者識別モジュール）カードの取り付け..... | 10 |
| micro-SIM（加入者識別モジュール）カードの取り外し..... | 11 |
| microSD（Secure Digital）カードの取り外し..... | 11 |
| microSD（Secure Digital）カードの取り付け..... | 11 |
| ベースカバーの取り外し..... | 11 |
| ベースカバーの取り付け..... | 12 |
| バッテリーの取り外し..... | 12 |
| バッテリーの取り付け..... | 13 |
| コイン型電池の取り外し..... | 14 |
| コイン型電池の取り付け..... | 15 |
| スマートカードケージの取り外し..... | 15 |
| スマートカードケージの取り付け..... | 15 |
| スピーカーの取り外し..... | 16 |
| スピーカーの取り付け..... | 16 |
| WLAN カードの取り外し..... | 17 |
| WLAN カードの取り付け..... | 18 |
| WWAN カードの取り外し..... | 19 |
| WWAN カードの取り付け..... | 20 |
| ソリッドステートドライブ（SSD）の取り外し..... | 20 |
| ソリッドステートドライブ（SSD）の取り付け..... | 21 |
| ディスプレイアセンブリの取り外し..... | 22 |
| ディスプレイアセンブリの取り付け..... | 24 |
| システム基板の取り外し..... | 24 |
| システム基板の取り付け..... | 26 |
| キーボードの取り外し..... | 27 |
| キーボードの取り付け..... | 28 |
| パームレストの取り外し..... | 28 |
| パームレストの取り付け..... | 29 |
| 3 テクノロジとコンポーネント | 30 |

| | |
|--|----|
| 電源アダプタ | 30 |
| プロセッサ | 30 |
| Windows 10 でプロセッサを識別する..... | 30 |
| Windows 8 でプロセッサを認識する..... | 30 |
| タスクマネージャでのプロセッサの使用状況の確認..... | 31 |
| リソースモニターでプロセッサの使用状況を確認..... | 31 |
| チップセット..... | 32 |
| チップセットドライバのダウンロード..... | 32 |
| Windows 10 のデバイスマネージャでチップセットを識別する..... | 32 |
| Windows 8 のデバイスマネージャでチップセットを識別する..... | 33 |
| グラフィックオプション..... | 34 |
| ドライバのダウンロード..... | 34 |
| ディスプレイアダプタの識別..... | 34 |
| 画面解像度の変更..... | 34 |
| ディスプレイの回転..... | 35 |
| ディスプレイオプション..... | 35 |
| Windows 10 での輝度調整..... | 35 |
| Windows 8 での輝度調整..... | 36 |
| ディスプレイのクリーニング..... | 36 |
| Windows 10 のタッチスクリーンの使用..... | 36 |
| Windows 8 のタッチスクリーンの使用..... | 36 |
| 外部ディスプレイデバイスへの接続..... | 37 |
| Realtek ALC3266-CG Waves MaxxAudio Pro コントローラ..... | 37 |
| オーディオドライバのダウンロード..... | 37 |
| Windows 10 でオーディオコントローラを識別する..... | 37 |
| Windows 8 でオーディオコントローラを識別する..... | 38 |
| オーディオ設定の変更..... | 38 |
| WLAN カード..... | 38 |
| 安全起動画面のオプション..... | 38 |
| ハードドライブのオプション..... | 39 |
| Windows 10 でハードドライブを識別する..... | 39 |
| Windows 8 でハードドライブを識別する..... | 39 |
| BIOS セットアップの起動..... | 39 |
| カメラ機能..... | 40 |
| Windows 10 のデバイスマネージャでカメラを識別する..... | 40 |
| Windows 8 のデバイスマネージャでカメラを識別する..... | 40 |
| カメラの起動..... | 40 |
| カメラアプリを起動する..... | 41 |
| メモリの機能..... | 42 |
| Windows 10 でシステムメモリを確認する..... | 42 |
| Windows 8 でシステムメモリを識別する..... | 42 |
| セットアップでのシステムメモリの確認..... | 42 |

| | |
|---|-----------|
| ePSA を使用したメモリのテスト..... | 43 |
| Intel チップセットドライバ..... | 43 |
| Intel HD グラフィックスドライバ..... | 43 |
| Realtek HD オーディオドライバ..... | 44 |
| 4 セットアップユーティリティ..... | 45 |
| Boot Sequence..... | 45 |
| ナビゲーションキー..... | 45 |
| セットアップユーティリティのオプション..... | 46 |
| 一般的な画面オプション..... | 46 |
| システム設定画面のオプション..... | 47 |
| ビデオ画面オプション..... | 49 |
| セキュリティ画面オプション..... | 49 |
| 安全起動画面のオプション..... | 51 |
| Intel Software Guard Extensions 画面オプション..... | 52 |
| パフォーマンス画面のオプション..... | 52 |
| 電力管理画面のオプション..... | 53 |
| POST 動作画面のオプション..... | 55 |
| 仮想化サポート画面のオプション..... | 56 |
| ワイヤレス画面オプション..... | 56 |
| メンテナンス画面のオプション..... | 57 |
| システムログ画面のオプション..... | 57 |
| BIOS のアップデート..... | 58 |
| システムパスワードおよびセットアップパスワード..... | 58 |
| システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て..... | 59 |
| 既存のシステムパスワードおよび / またはセットアップパスワードの削除または変更..... | 60 |
| 5 診断..... | 61 |
| ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断..... | 61 |
| デバイスステータスライト..... | 62 |
| 6 技術仕様..... | 63 |
| システム仕様..... | 63 |
| プロセッサの仕様..... | 63 |
| メモリの仕様..... | 63 |
| オーディオの仕様..... | 64 |
| ビデオの仕様..... | 64 |
| カメラの仕様..... | 64 |
| 通信の仕様..... | 65 |
| ポートおよびコネクタの仕様..... | 65 |
| ディスプレイの仕様..... | 65 |
| キーボードの仕様..... | 66 |


| | |
|--------------------------|-----------|
| タッチパッドの仕様..... | 66 |
| バッテリーの仕様..... | 66 |
| ACアダプタの仕様..... | 67 |
| 物理的仕様..... | 68 |
| 環境仕様..... | 68 |
| 7 デルへのお問い合わせ..... | 69 |


コンピュータ内部の作業


安全にお使いいただくために


コンピュータの損傷を防ぎ、ユーザー個人の安全を守るため、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。特記がない限り、本書に記載される各手順は、以下の条件を満たしていることを前提とします。


- コンピュータに付属の「安全に関する情報」を読んでいること。
- コンポーネントは交換可能であり、別売りの場合は取り外しの手順を逆順に実行すれば、取り付け可能であること。


 **警告:** すべての電源を外してから、コンピュータカバーまたはパネルを開きます。コンピュータ内部の作業が終わったら、カバー、パネル、ネジをすべて取り付けてから、電源に接続します。


 **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、コンピュータに付属の「安全に関する情報」に目を通してください。安全に関するベストプラクティスについては、規制コンプライアンスに関するホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) を参照してください。

 **注意:** 修理作業の多くは、認定されたサービス技術者のみが行うことができます。製品マニュアルで許可されている範囲に限り、またはオンラインサービスもしくは電話サービスとサポートチームの指示によるのみ、トラブルシューティングと簡単な修理を行うようにしてください。デルで認められていない修理（内部作業）による損傷は、保証の対象となりません。製品に付属しているマニュアルの「安全にお使いいただくために」をお読みになり、指示に従ってください。

 **注意:** 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピュータの裏面にあるコネクタなどの塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。

 **注意:** コンポーネントとカードは丁寧に取り扱いってください。コンポーネント、またはカードの接触面に触らないでください。カードは端、または金属のマウンティングブラケットを持ってください。プロセッサなどのコンポーネントはピンではなく、端を持ってください。

 **注意:** ケーブルを外す場合は、ケーブルのコネクタかプルタブを持って引き、ケーブル自体を引っ張らないでください。コネクタにロックタブが付いているケーブルもあります。この場合、ケーブルを外す前にロックタブを押さえてください。コネクタを引き抜く場合、コネクタピンが曲がらないように、均一に力をかけてください。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが同じ方向を向き、きちんと並んでいることを確認してください。

 **メモ:** お使いのコンピュータの色および一部のコンポーネントは、本書で示されているものと異なる場合があります。

コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行してください。

1. 「[安全にお使いいただくために](#)」を必ずお読みください。
2. コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。

3. コンピュータの電源を切ります（[コンピュータの電源を切る](#)を参照）。

△ 注意: ネットワークケーブルを外すには、まずケーブルのプラグをコンピュータから外し、次にケーブルをネットワークデバイスから外します。

4. コンピュータからすべてのネットワークケーブルを外します。
5. コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
6. システムのコンセントが外されている状態で、電源ボタンをしばらく押して、システム基板の静電気を除去します。
7. カバーを取り外します。



△ 注意: コンピュータの内部に触れる前に、コンピュータの裏面など塗装されていない金属面に触れ、静電気を除去します。作業中は定期的に塗装されていない金属面に触れ、内部コンポーネントを損傷する恐れのある静電気を放出してください。

コンピュータの電源を切る


△ 注意: データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のプログラムはすべて終了してください。

1. コンピュータの電源を切る：


- Windows 10 の場合（タッチ対応デバイスまたはマウスを使用）：

1. スタートアイコンを 。
2. 電源アイコンを  次に **Shut down（シャットダウン）** をクリックまたはタッチします。

- Windows 8 の場合（タッチ対応デバイスを使用）：

1. 画面の右端からスワイプインして、チャームメニューを開き、**Settings（設定）** を選択します。
2. 電源アイコンを  次に **Shut down（シャットダウン）** をタップします。

- Windows 8 の場合（マウスを使用）：

1. 画面の右上隅をポイントし、**Settings（設定）** をクリックします。
2. 電源アイコンを  次に **Shut down（シャットダウン）** を選択します。

- Windows 7 の場合：

1. **Start（開始）** をクリックします。
2. **Shut Down（シャットダウン）** をクリックします。

2. コンピュータと取り付けられているデバイスすべての電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしてもコンピュータとデバイスの電源が自動的に切れない場合、電源ボタンを 6 秒間押したままにして電源を切ります。

コンピュータ内部の作業を終えた後に

交換（取り付け）作業が完了したら、コンピュータの電源を入れる前に、外付けデバイス、カード、ケーブルなどが接続されていることを確認してください。

△ 注意: コンピュータへの損傷を防ぐため、本 Dell コンピュータ専用のバッテリーのみを使用してください。他の Dell コンピュータ用のバッテリーは使用しないでください。

1. ポートレプリケータ、メディアベースなどの外部デバイスを接続し、ExpressCard などのカードを交換します。
2. 電話線、またはネットワークケーブルをコンピュータに接続します。

△ 注意: ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルをネットワークデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。

3. バッテリーを取り付けます。
4. ベースカバーを取り付けます。
5. コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
6. コンピュータの電源を入れます。

コンポーネントの取り外しと取り付け

このセクションには、お使いのコンピュータからコンポーネントを取り外し、取り付ける手順についての詳細な情報が記載されています。

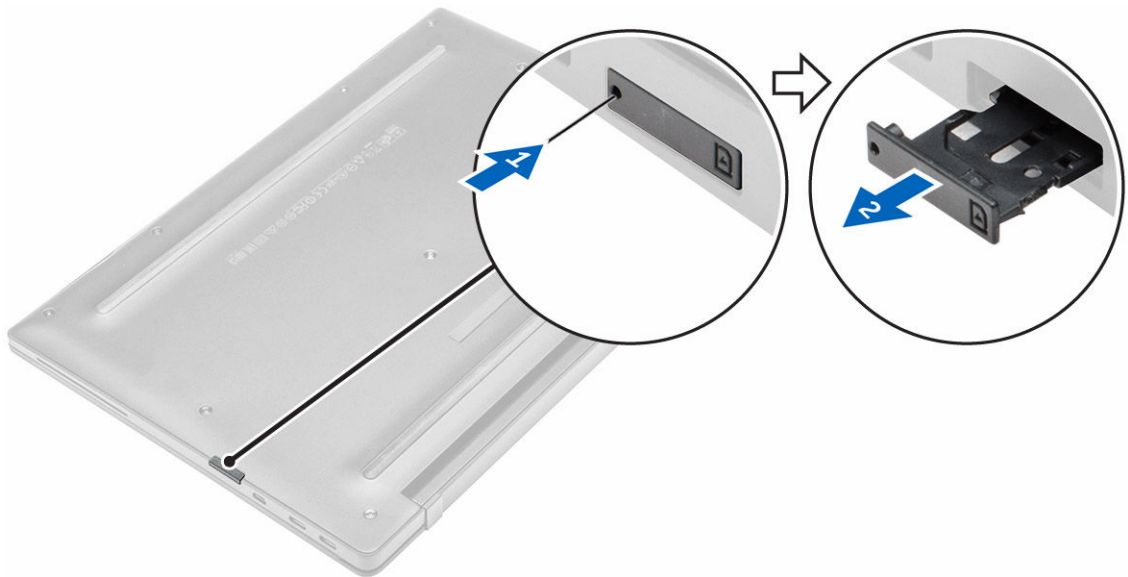
推奨ツール

本マニュアルの手順には以下のツールが必要です。

- 小型のマイナスドライバー
- プラスドライバー
- 小型のプラスチックスクライブ

micro-SIM（加入者識別モジュール）カードの取り付け

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. ペーパークリップまたは、SIMカードの取り外しツールをピンホールに差し込んで、SIMカードトレイを取り出します [1]。
3. micro-SIMカードをSIMカードトレイにセットします [2]。
4. カチッと所定の位置に収まるまでSIMカードトレイをスロットに押し込みます。



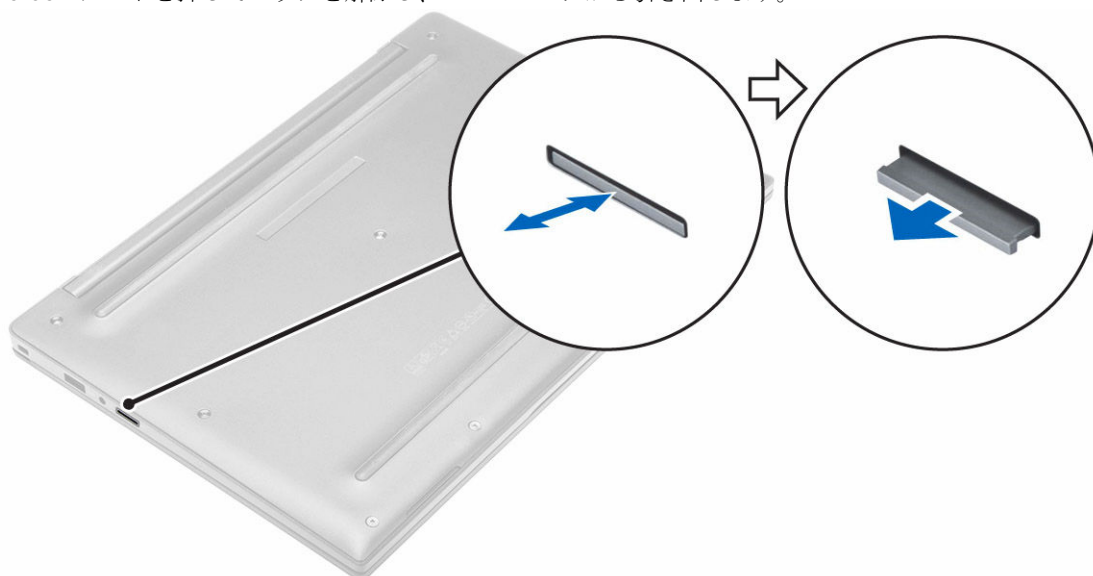
micro-SIM（加入者識別モジュール）カードの取り外し

△ 注意: コンピュータがデータを損失またはカードを損傷する恐れがある場合は、micro-SIM カードを取り外します。コンピュータの電源が切れている、またはネットワーク接続が無効になっていることを確認してください。

1. ペーパークリップまたは、SIM カードの取り外しツールを SIM カードトレイのピンホールに差し込みます。
2. micro-SIM カードを SIM カードトレイから取り外します。
3. カチッと所定の位置に収まるまで SIM カードトレイをスロットに押し込みます。

microSD（Secure Digital）カードの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. microSD カードを押してロックを解除し、コンピュータから引き出します。



microSD（Secure Digital）カードの取り付け

1. カチッと所定の位置に収まるまで microSD カードをスロットに押し込みます。
2. [「コンピュータ内部の作業を終えた後に」](#)の手順に従います。

ベースカバーの取り外し

1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. ベースカバーを取り外すには、以下の手順を実行します。
 - a. ベースカバーをコンピュータに固定している拘束ネジを緩めます [1]。
 - b. ベースカバーを端から持ち上げて、コンピュータから取り外します [2]。

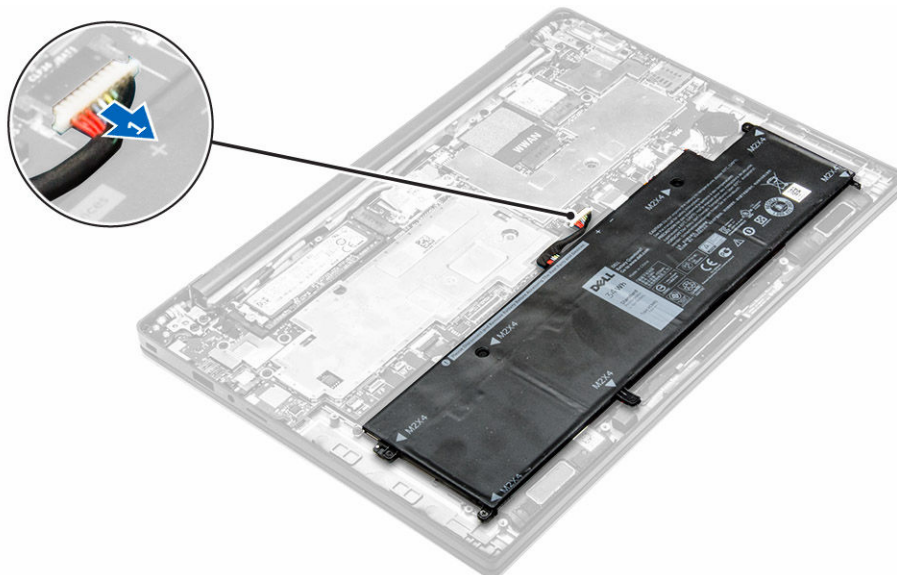


ベースカバーの取り付け

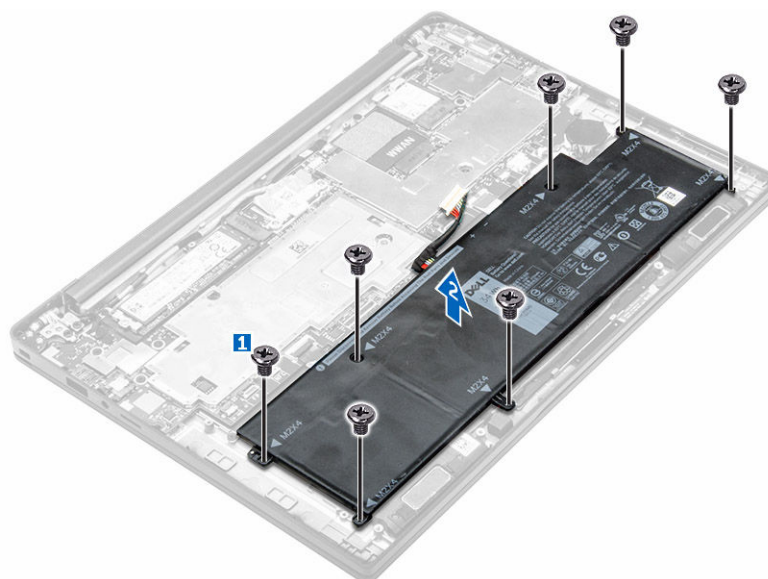
1. ベースカバーのタブをコンピュータのスロットに合わせます。
2. ネジを締めてベースカバーをコンピュータに固定します。
3. カチッと所定の位置に収まるまで、カバーの両端を押します。
4. [「コンピュータ内部の作業を終えた後に」](#)の手順に従います。

バッテリーの取り外し


1. [「コンピュータ内部の作業を始める前に」](#)の手順に従います。
2. [ベースカバー](#)を取り外します。
3. バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタから外します [1]。



4. バッテリーを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. バッテリーをコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
 - b. バッテリーを持ち上げてコンピュータから取り外します [2]。



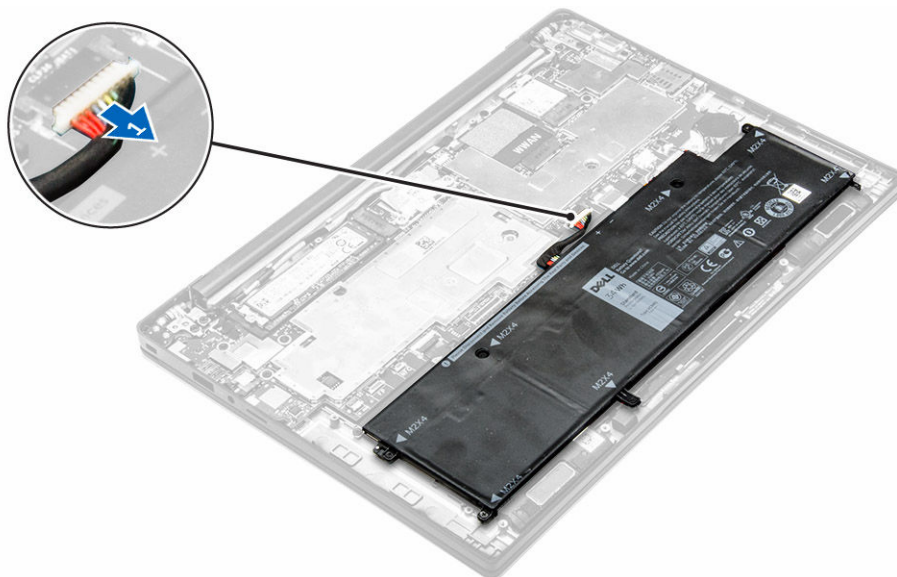
バッテリーの取り付け

1. バッテリーのタブをパームレストのスロットに合わせます。
2. バッテリーをコンピュータに固定するネジを締めます。
 **メモ:** ネジの数はバッテリーのタイプに応じて異なります。
3. バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
4. ベースカバーを取り付けます。

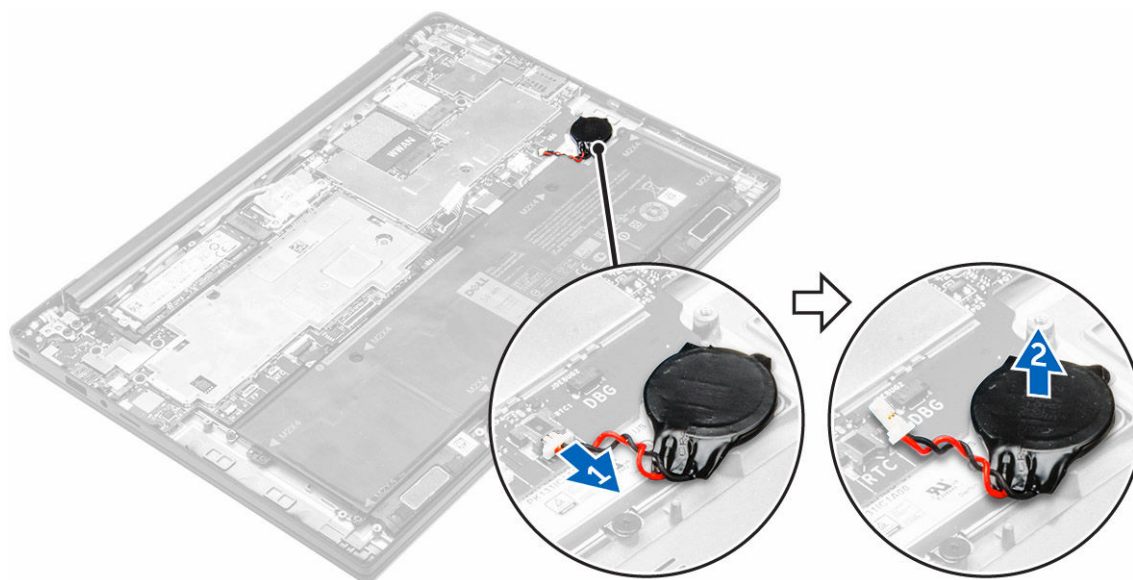
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

コイン型電池の取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [ベースカバー](#)
3. バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタから外します [1]。



4. コイン型電池を取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. コイン型電池ケーブルをシステム基板のコネクタから外します [1]。
 - b. コイン型電池を持ち上げ、接着面から外してシステム基板から取り外します [2]。

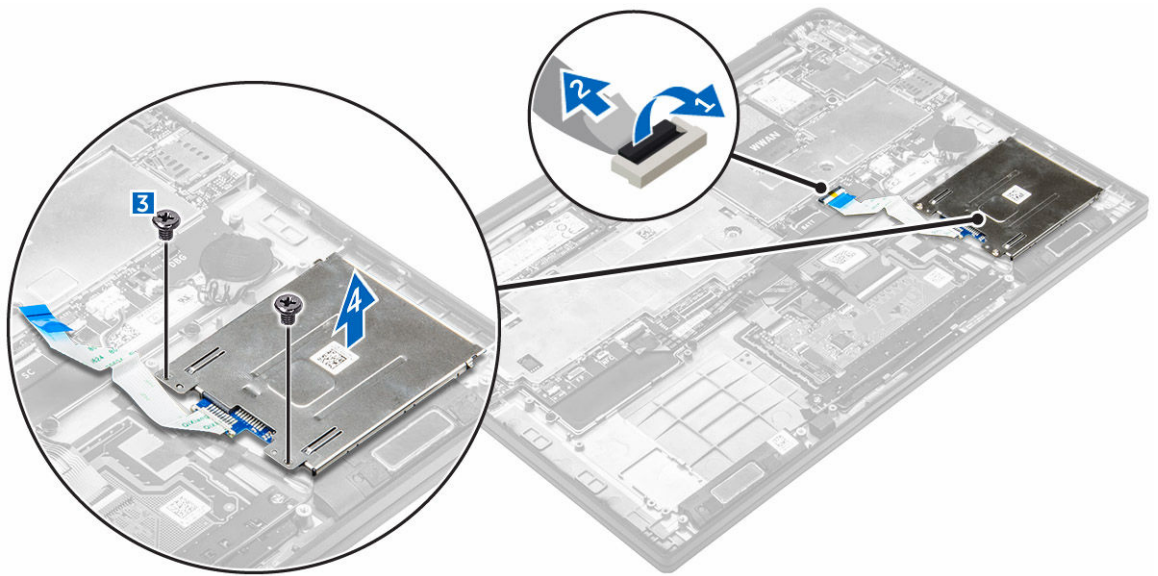


コイン型電池の取り付け

1. コイン型電池をシステム基板のスロットにセットします。
2. コイン型電池ケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
3. バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ベースカバー](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

スマートカードケースの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [ベースカバー](#)
 - b. [バッテリー](#)
3. スマートカードケースを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. スマートカード FFC ケーブルを外します [1、2]。
 - b. スマートカードケースをシステム基板に固定しているネジを外します [3]。
 - c. スマートカードケースを持ち上げてシステム基板から取り外します [4]。




スマートカードケースの取り付け

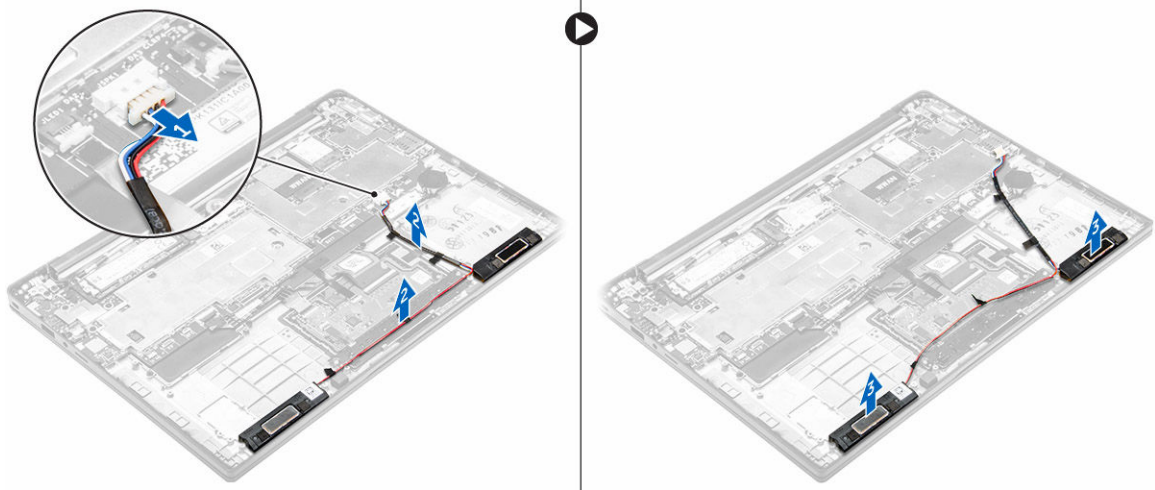
1. スマートカードケースをシステム基板上にセットします。
2. ネジを締めてスマートカードケースをコンピュータに固定します。
3. スマートカード FFC ケーブルをシステム基板に接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [バッテリー](#)

- b. [ベースカバー](#)
- 5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

スピーカーの取り外し

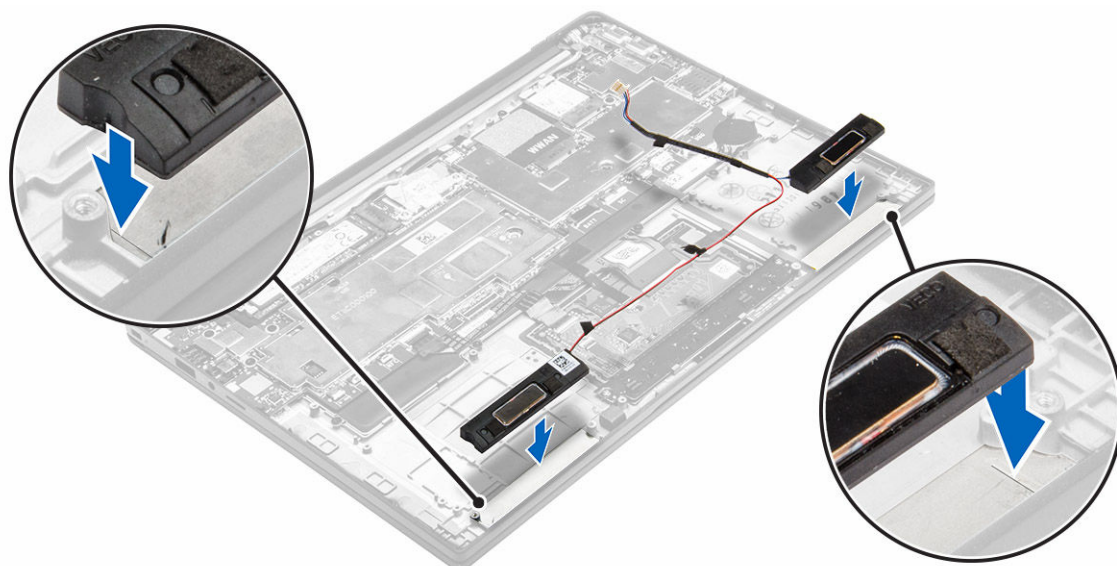
1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [ベースカバー](#)
 - b. [バッテリー](#)
3. スピーカーを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. スピーカーケーブルを外します [1]。
 - b. スピーカーケーブルの配線を外します [2]。
 - c. スピーカーをコンピュータから取り外します [3]。

 **メモ:** プラスチックスクライブを使用して、スピーカーを粘着パッドから取り外します。



スピーカーの取り付け

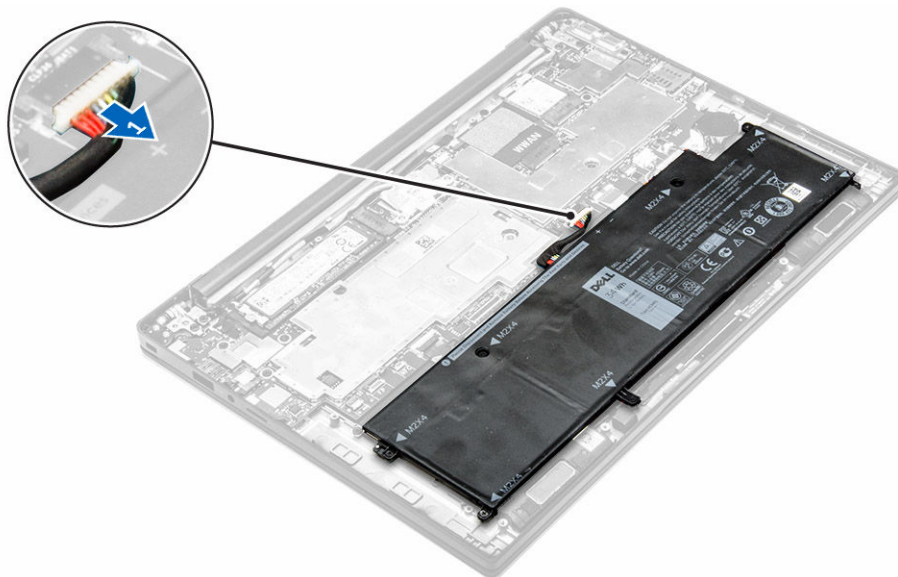
1. スピーカーをコンピュータの位置合わせラインに揃えるようにセットします。



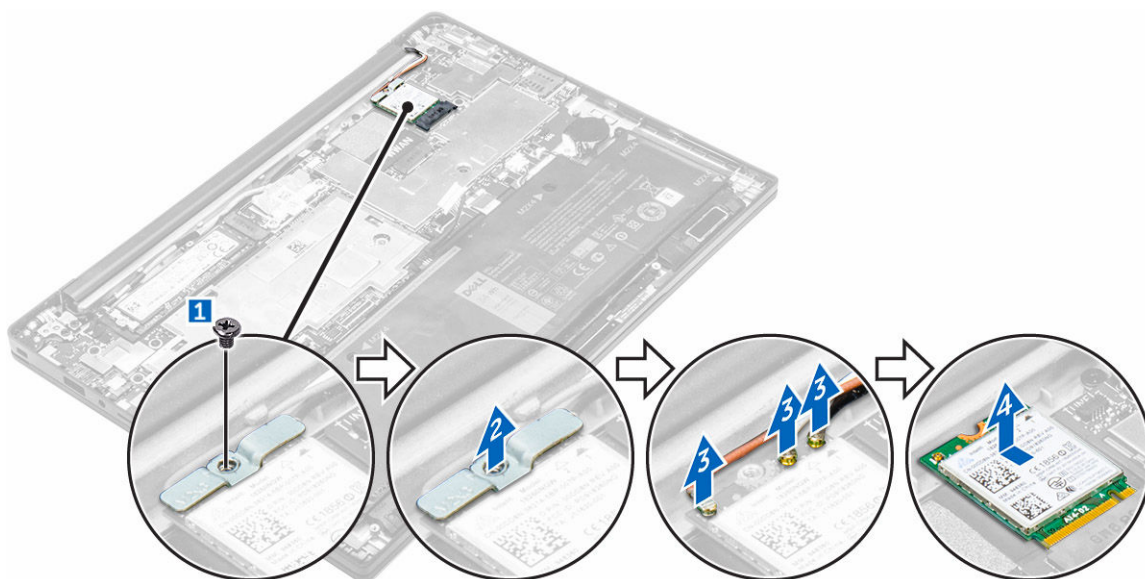
2. スピーカーケーブルをドックフレームの固定クリップに通して配線します。
3. スピーカーケーブルをシステム基板のコンネクタに接続します。
4. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [バッテリー](#)
 - b. [ベースカバー](#)
5. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

WLAN カードの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [ベースカバー](#)
3. バッテリーケーブルをシステム基板のコンネクタから外します [1]。



4. WLAN カードを取り外すには、次の手順を実行します。
- a. 金属製ブラケットを WLAN カードに固定しているネジを外します [1]。
 - b. 金属製ブラケットを取り外します [2]。
 - c. WLAN ケーブルを WLAN カードのコネクタから外します [3]。
 - d. WLAN カードをコンピュータから取り外します [4]。



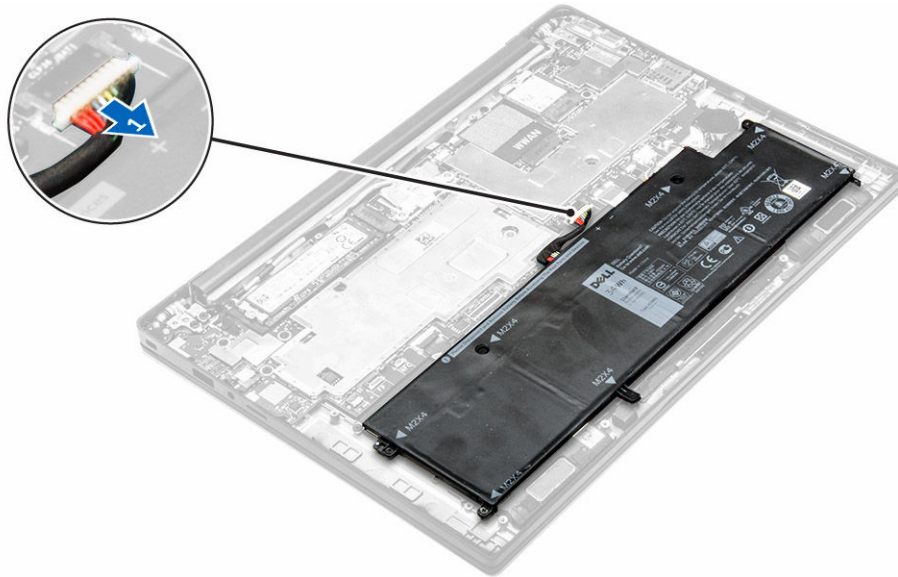
WLAN カードの取り付け

1. WLAN カードをコンピュータのスロットに差し込みます。
2. WLAN ケーブルを配線チャンネルを通して配線します。
3. WLAN ケーブルを WLAN カードのコネクタに接続します。
4. 金属ブラケットをセットして、ネジを締めコンピュータに固定します。

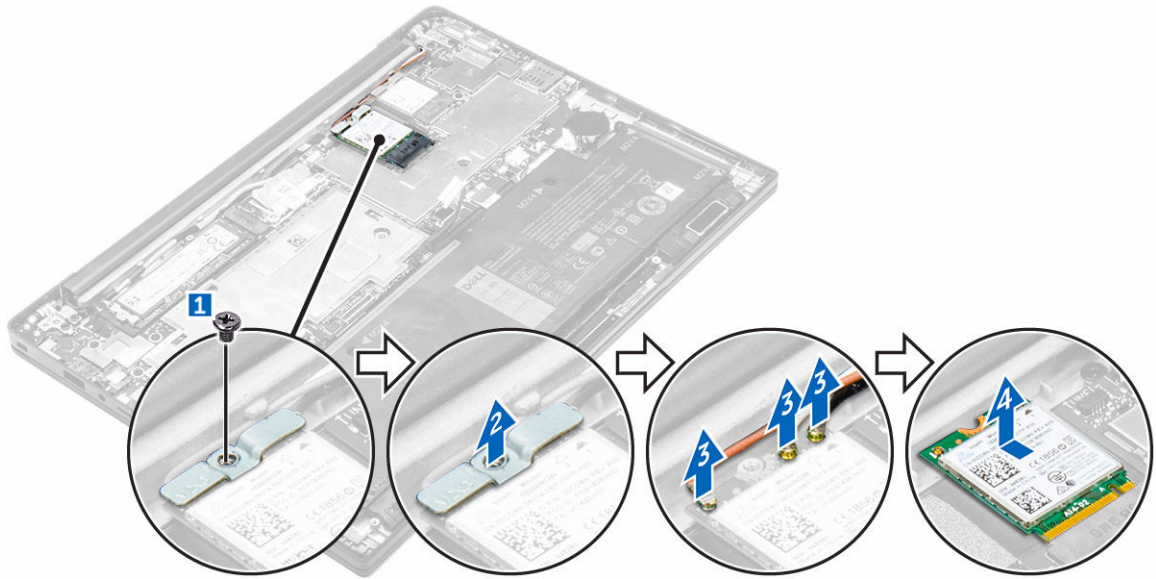
5. バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ベースカバー](#)
7. 「[システム内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

WWAN カードの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [ベースカバー](#)
3. バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタから外します [1]。



4. WWAN カードを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. アルミホイルを折り目まではがします。
 - b. 金属製ブラケットを WWAN カードに固定しているネジを外します [1]。
 - c. 金属製ブラケットを取り外します [2]。
 - d. WWAN ケーブルを WWAN カードのコネクタから外します [3]。
 - e. WWAN カードをコンピュータから取り外します [4]。

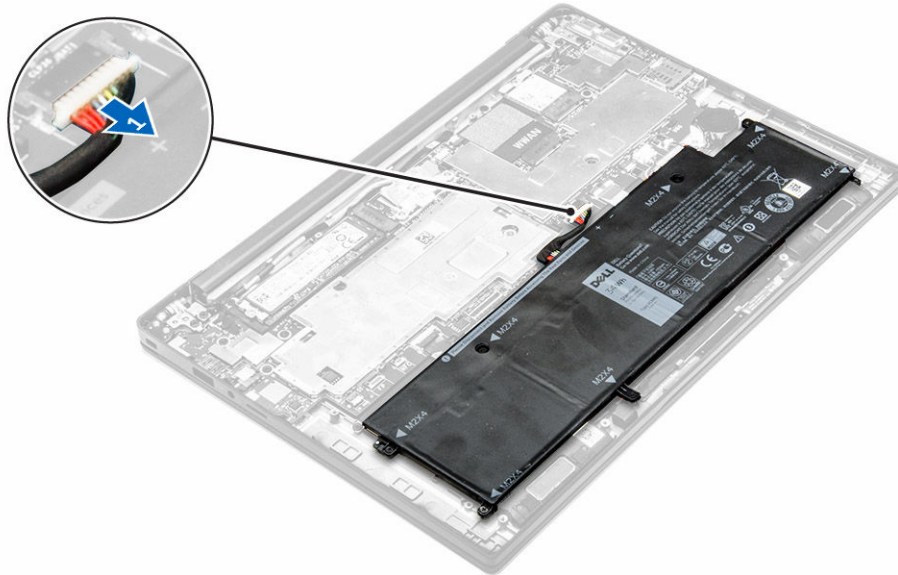


WWAN カードの取り付け

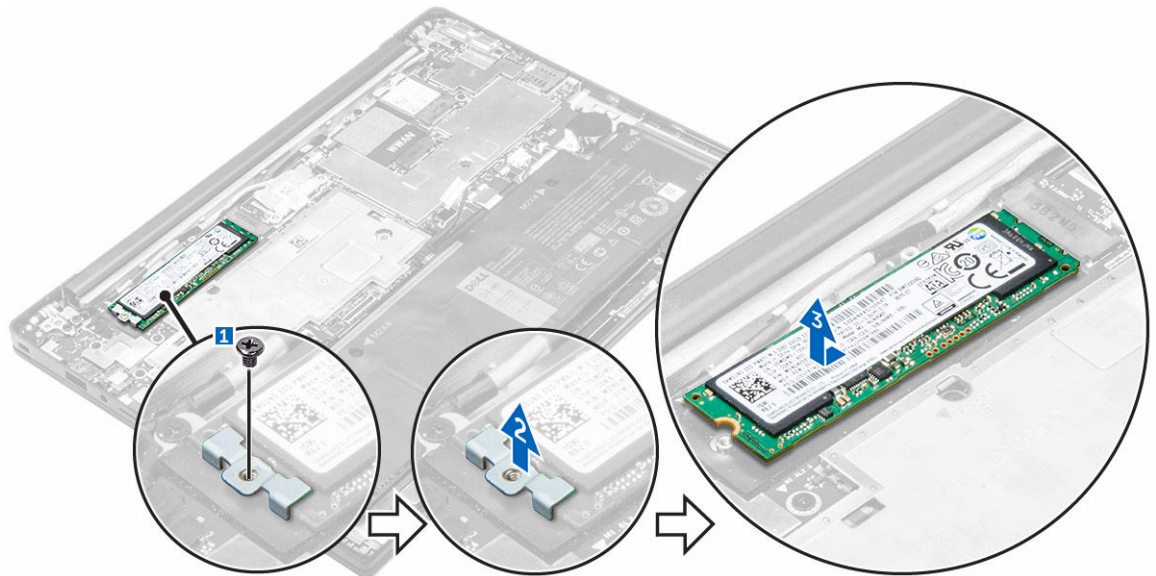
1. アルミホイルを折り目まではがします。
2. WWAN カードをコンピュータのスロットに差し込みます。
3. WWAN ケーブルを配線チャンネルを通して配線します。
4. WWAN ケーブルを WWAN カードのコネクタに接続します。
5. 金属ブラケットをセットして、ネジを締めコンピュータに固定します。
6. ブラケットと WWAN カードにアルミホイルを貼り付けます。
7. バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
8. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ベースカバー](#)
9. 「[システム内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

ソリッドステートドライブ (SSD) の取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [ベースカバー](#)
3. バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタから外します [1]。



4. SSD を取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. アルミホイルを折り目まではがします。
 - b. SSD をコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
 - c. SSD ブラケットを取り外します [2]。
 - d. 銅のサーマルプレートを取り外します。
 - e. SSD をコンピュータから取り外します [3]。



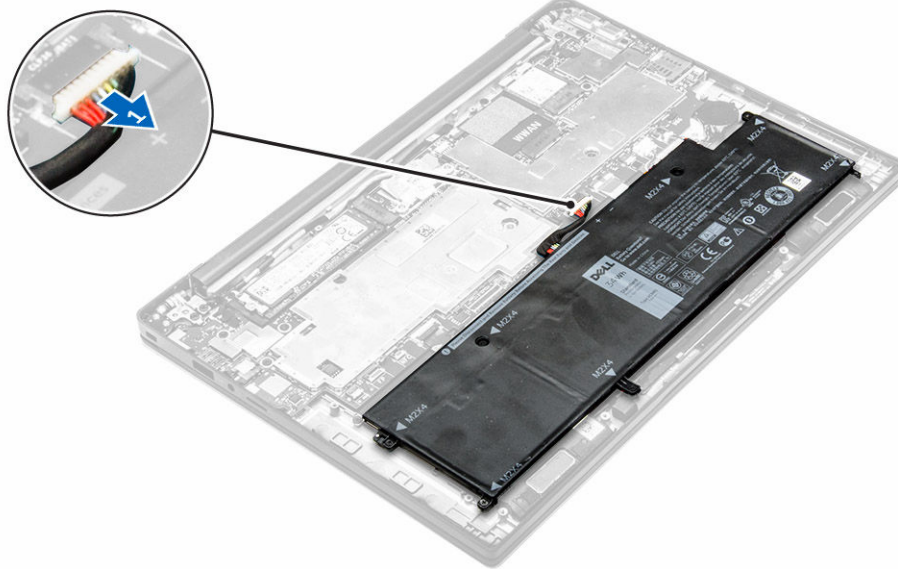
ソリッドステートドライブ (SSD) の取り付け

1. SSD をコンピュータのコネクタに差し込みます。
2. サーマルプレートを取り付けます。
3. 金属製ブラケットを取り付けます。

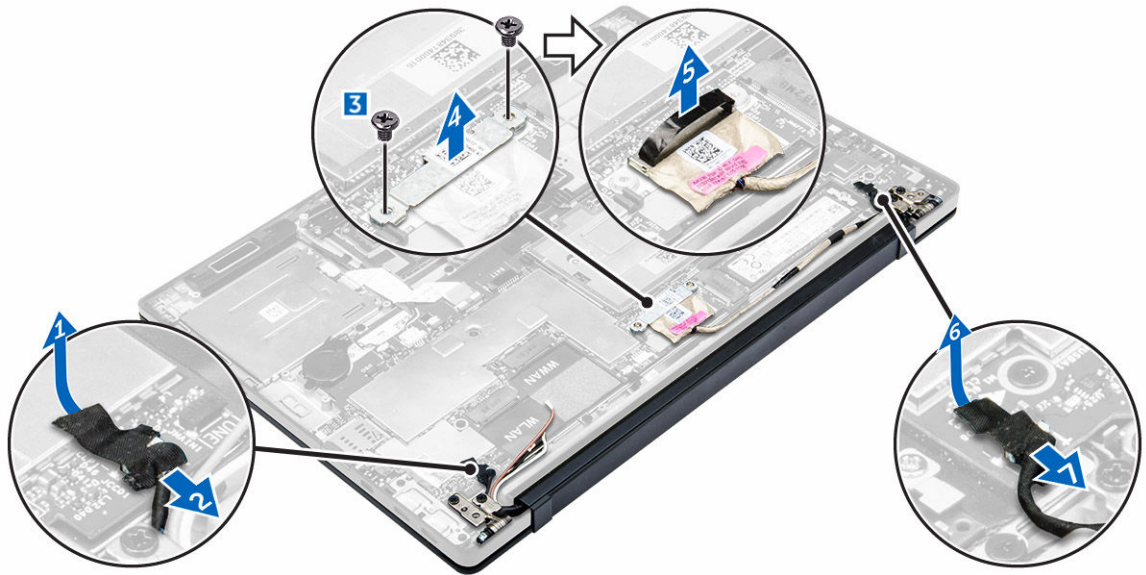
4. ネジを締めて SSD をコンピュータに固定します。
5. サーマルプレートにアルミホイルを貼り付けます。
6. バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
7. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [ベースカバー](#)
8. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

ディスプレイアセンブリの取り外し

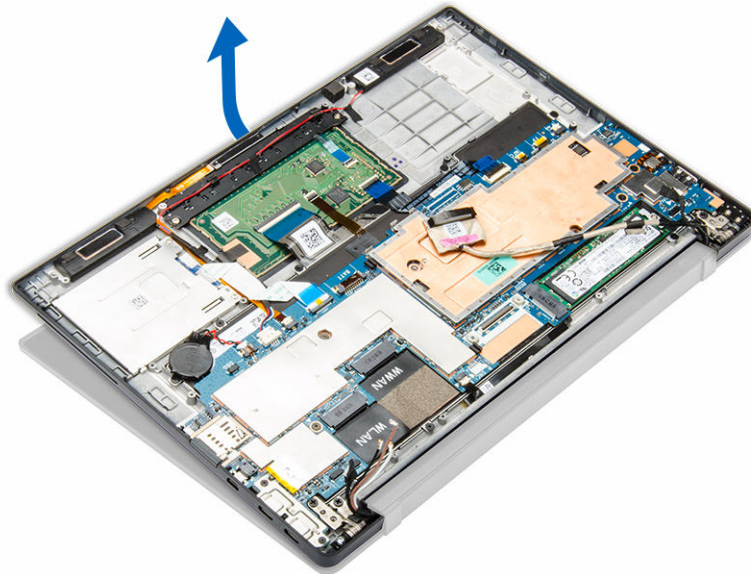
1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. [ベースカバー](#)を取り外します。
3. バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタから外します [1]。



4. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [WLAN カード](#)
 - b. [WWAN カード](#)
5. ケーブルを外すには、次の手順を実行します。
 - a. カメラケーブルとチューニングケーブルを外します [1、2]。
 - b. アルミホイルを折り目まではがします。
 - c. 金属プレートを固定しているネジを外し、持ち上げてコンピュータから取り外します [3、4]。
 - d. 粘着テープをはがしてディスプレイケーブルにアクセスし、コネクタから外します [5]。
 - e. タッチパネルケーブルをコンピュータから外します [6]。



6. パームレストアセンブリを持ち上げて、ディスプレイアセンブリから離します。



7. ディスプレイアセンブリを取り外すには、次の手順を実行します。
- ディスプレイアセンブリをコンピュータに固定しているネジを取り外します [1]。
 - ディスプレイアセンブリをスライドさせて、コンピュータから外します [2]。



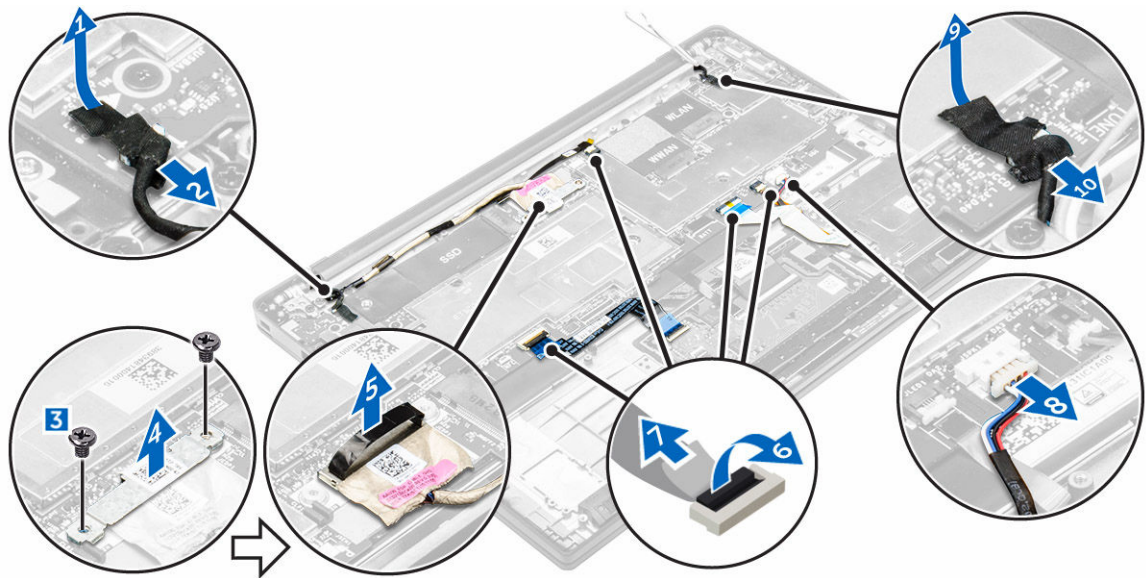
ディスプレイアセンブリの取り付け

1. ディスプレイケーブルをコネクタに接続し、粘着テープを貼り付けます。
2. サーマルプレートとディスプレイケーブルにアルミホイルを貼り付けます。
3. カメラケーブル、タッチパネルケーブル、およびチューニングケーブルを接続します。
4. ディスプレイアセンブリをコンピュータのネジホルダに合わせます。
5. ディスプレイアセンブリを固定するネジを締めます。
6. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [WWAN カード](#)
 - b. [WLAN カード](#)
7. バッテリーケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
8. [ベースカバー](#)を取り付けます。
9. 「[システム内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

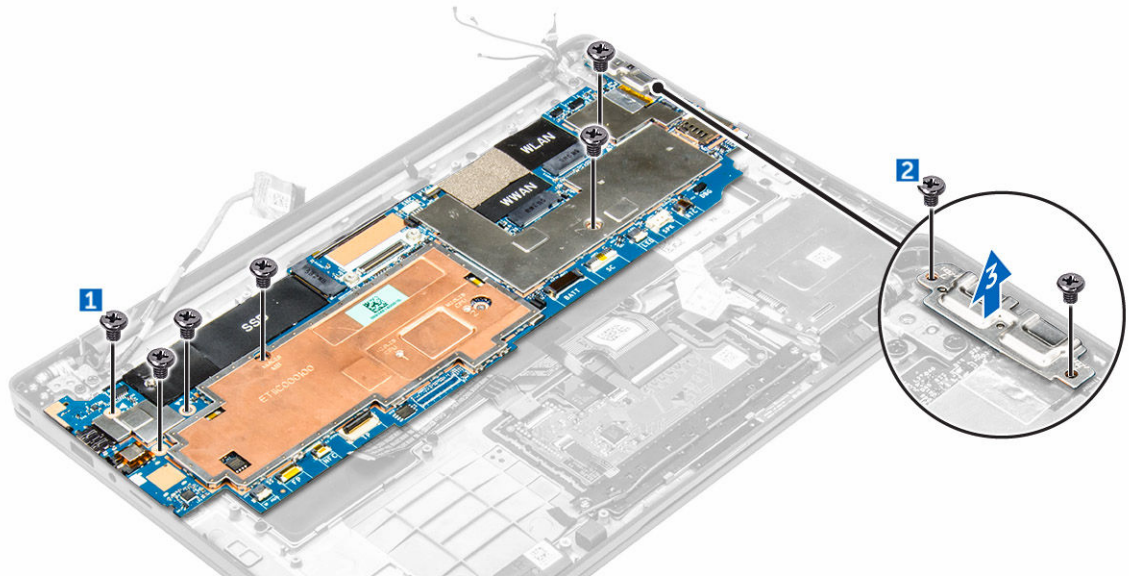
システム基板の取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [ベースカバー](#)
 - b. [バッテリー](#)
 - c. [SSD](#)
 - d. [WLAN カード](#)

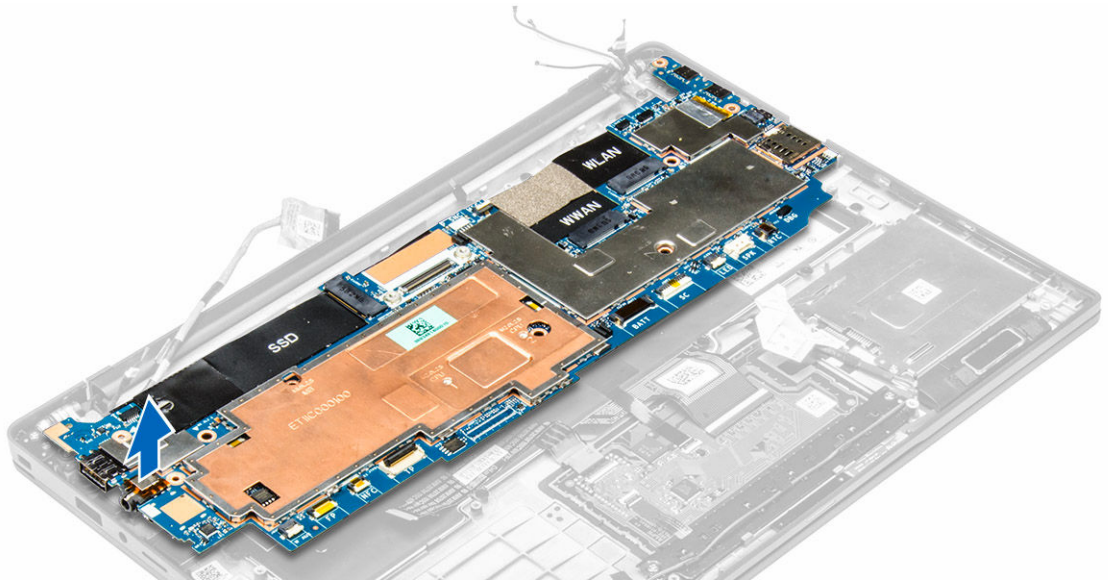
- e. [WWAN カード](#)
 - f. [コイン型電池](#)
 - g. [ディスプレイ](#)
3. システム基板から以下のケーブルを外します。
- a. スピーカーケーブル
 - b. タッチパッドケーブル
 - c. スマートカードケーブル
 - d. LED ケーブル
 - e. アレイマイクケーブル
 - f. 指紋認証ケーブル
 - g. WWAN AUX アンテナケーブル
 - h. NFC ケーブル



4. システム基板を取り外すには、次の手順を実行します。
- a. システム基板をコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
 - b. 金属製のタブを固定しているネジを外して、タブをコンピュータから取り外します [2、3]。



5. システム基板を持ち上げて、コンピュータから取り出します。



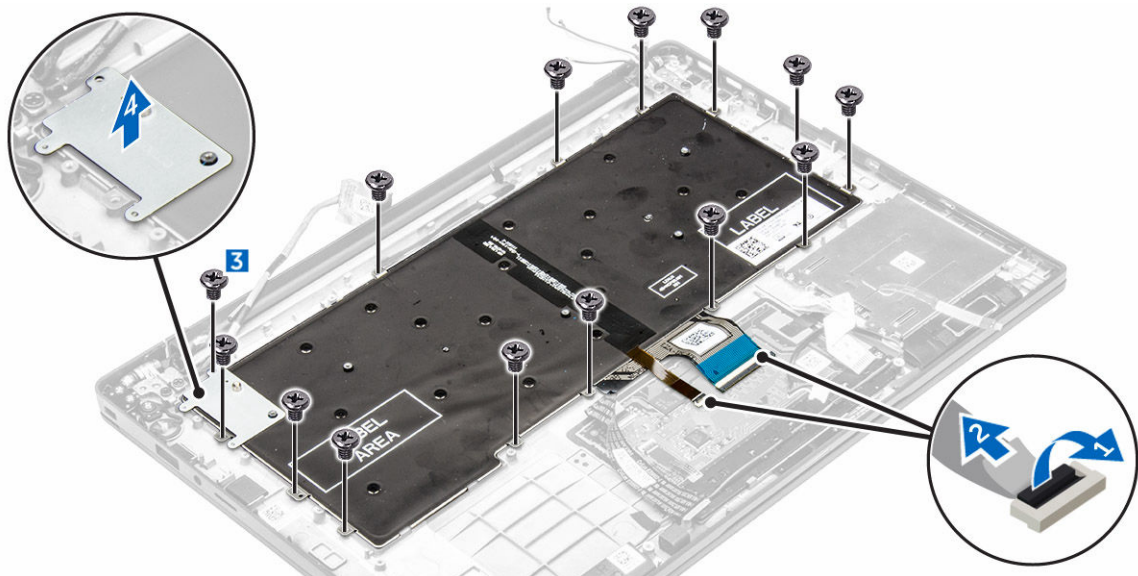
システム基板の取り付け

1. システム基板をコンピュータのネジホルダに合わせます。
2. ネジを締めてシステム基板をコンピュータに固定します。
3. ネジを締めて USB type C ポート上で金属製のタブを固定します。
4. 次のケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
 - a. スピーカーケーブル
 - b. スマートカードケーブル
 - c. LED ケーブル
 - d. アレイマイクケーブル

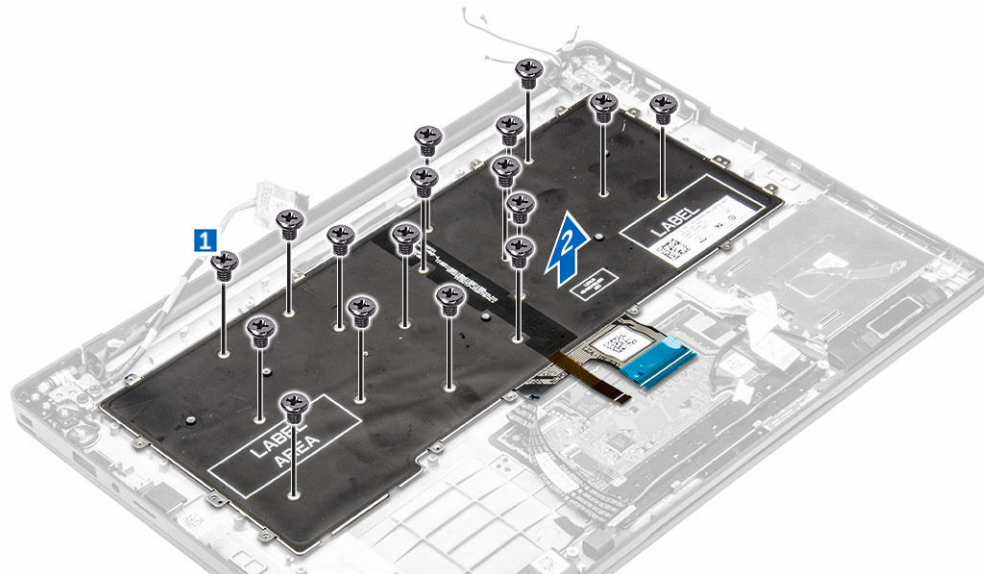
- e. タッチパッドケーブル
 - f. 指紋認証ケーブル
 - g. WWAN AUX アンテナケーブル
 - h. NFC ケーブル
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
- a. [ディスプレイ](#)
 - b. [コイン型電池](#)
 - c. [WWAN カード](#)
 - d. [WLAN カード](#)
 - e. [SSD](#)
 - f. [バッテリー](#)
 - g. [ベースカバー](#)
6. 「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

キーボードの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
- a. [ベースカバー](#)
 - b. [バッテリー](#)
 - c. [SSD](#)
 - d. [WLAN カード](#)
 - e. [WWAN カード](#)
 - f. [コイン型電池](#)
 - g. [ディスプレイ](#)
 - h. [システム基板](#)
3. キーボードを取り外すには、次の手順を実行します。
- a. キーボードケーブルをシステム基板のコンネクタから外します [1、2]。
 - b. キーボードをコンピュータに固定しているネジを外します [3]。
 - c. 金属製のタブを持ち上げてコンピュータから取り外します [4]。



4. キーボードを取り外すには、次の手順を実行します。
 - a. キーボードをコンピュータに固定しているネジを外します [1]。
 - b. キーボードをコンピュータから持ち上げます [2]。



キーボードの取り付け

1. キーボードをコンピュータのネジホルダーに合わせます。
2. ネジを締めてキーボードをコンピュータに固定します。
3. システム基板上で金属製のタブを固定するネジを締めます。
4. キーボードケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。
5. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [システム基板](#)
 - b. [ディスプレイ](#)
 - c. [SSD](#)
 - d. [WWAN](#)
 - e. [WLAN](#)
 - f. [コイン型電池](#)
 - g. [バッテリー](#)
 - h. [ベースカバー](#)
6. 「[システム内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

パームレストの取り外し

1. 「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順に従います。
2. 次のコンポーネントを取り外します。
 - a. [ベースカバー](#)
 - b. [バッテリー](#)
 - c. [SSD](#)
 - d. [WWAN カード](#)

- e. [WLAN カード](#)
 - f. [コイン型電池](#)
 - g. [スマートカードケージ](#)
 - h. [スピーカー](#)
 - i. [ディスプレイアセンブリ](#)
 - j. [システム基板](#)
 - k. [キーボード](#)
3. パームレストアセンブリをコンピュータから取り外します。





パームレストの取り付け

1. パームレストをコンピュータにセットします。
2. 次のコンポーネントを取り付けます。
 - a. [キーボード](#)
 - b. [システム基板](#)
 - c. [ディスプレイアセンブリ](#)
 - d. [スピーカー](#)
 - e. [スマートカードケージ](#)
 - f. [コイン型電池](#)
 - g. [WLAN カード](#)
 - h. [WWAN カード](#)
 - i. [SSD](#)
 - j. [バッテリー](#)
 - k. [ベースカバー](#)
3. 「[システム内部の作業を終えた後に](#)」の手順に従います。

テクノロジーとコンポーネント

電源アダプタ


このノート PC の電源アダプタは 45 W です。このアダプタは USB Type C コネクタを使用します。

-  **警告:** 電源アダプタケーブルをノート PC から外す場合、ケーブルの損傷を防ぐため、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。
-  **警告:** 電源アダプタは世界各国のコンセントに適合しています。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

プロセッサ

このノート PC には次のプロセッサが標準装備されています。

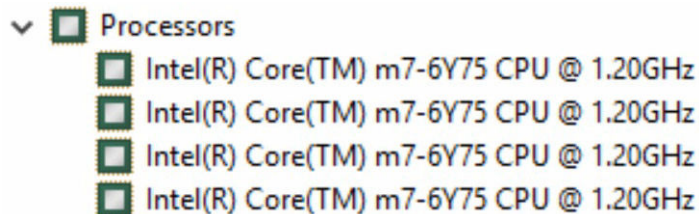
- Intel Core M3-6Y30
- Intel Core M5-6Y57
- Intel Core M7-6Y75

 **メモ:** クロック速度とパフォーマンスは、作業負荷およびその他の変数に応じて異なります。

Windows 10 でプロセッサを識別する

1. **Web** および **Windows** の検索 をタップします。
2. デバイスマネージャ と入力します。
3. **プロセッサ** をタップします。

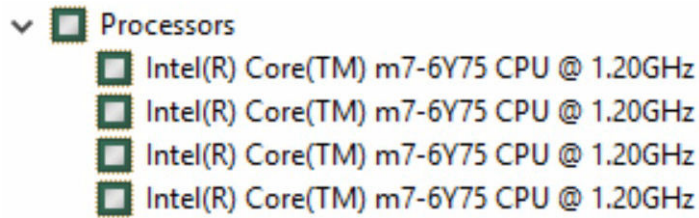
プロセッサの基本的な情報が表示されます。



Windows 8 でプロセッサを認識する

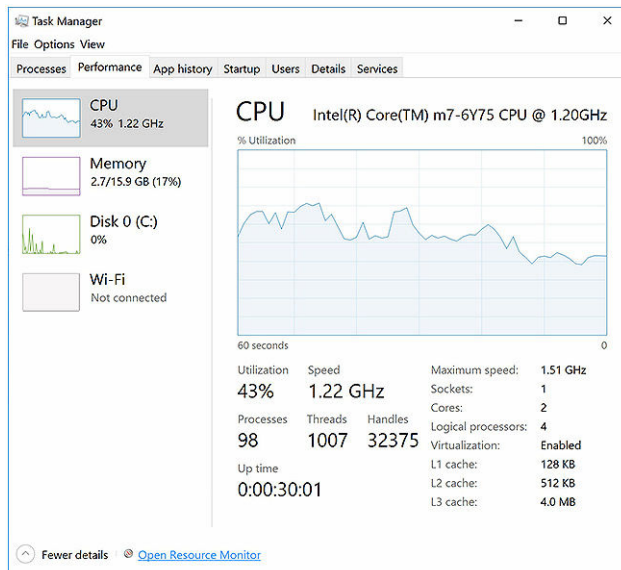
1. **Web** および **Windows** の検索 をタップします。
2. デバイスマネージャ と入力します。

3. プロセッサをタップします。
プロセッサの基本的な情報が表示されます。



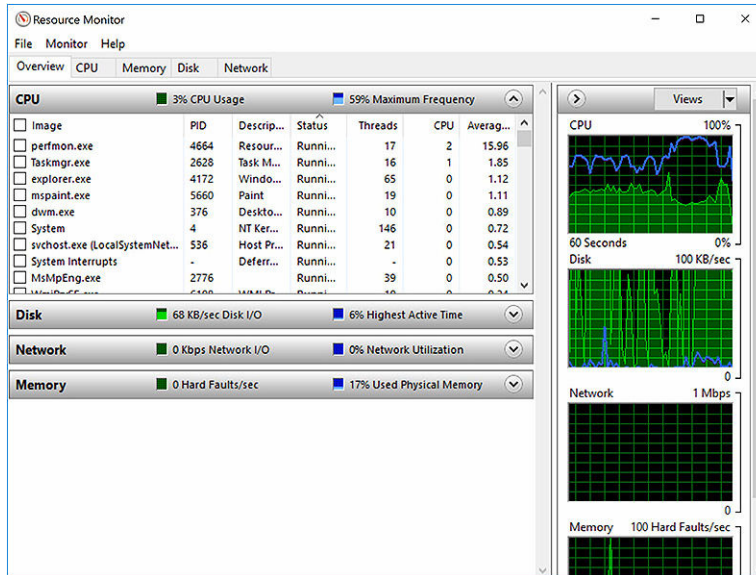
タスクマネージャでのプロセッサの使用状況の確認

1. タスクバーを長押しします。
2. タスクマネージャの起動を選択します。
Windows タスクマネージャ ウィンドウが表示されます。
3. Windows タスクマネージャ ウィンドウで、パフォーマンス タブをクリックします。
プロセッサのパフォーマンス詳細が表示されます。



リソースモニタでプロセッサの使用状況を確認

1. タスクバーを長押しします。
2. タスクマネージャの起動を選択します。
Windows タスクマネージャ ウィンドウが表示されます。
3. Windows タスクマネージャ ウィンドウで、パフォーマンス タブをクリックします。
プロセッサのパフォーマンス詳細が表示されます。
4. リソースモニタを開くをクリックします。




チップセット

ノート PC はすべてチップセットを介して CPU と通信します。このノート PC には Intel 100 シリーズチップセットが標準されています。


チップセットドライバのダウンロード

1. ノート PC の電源を入れます。
2. www.dell.com/support にアクセスします。
3. **Product Support (製品サポート)** をクリックし、ノート PC のサービスタグを入力して、**Submit (送信)** をクリックします。

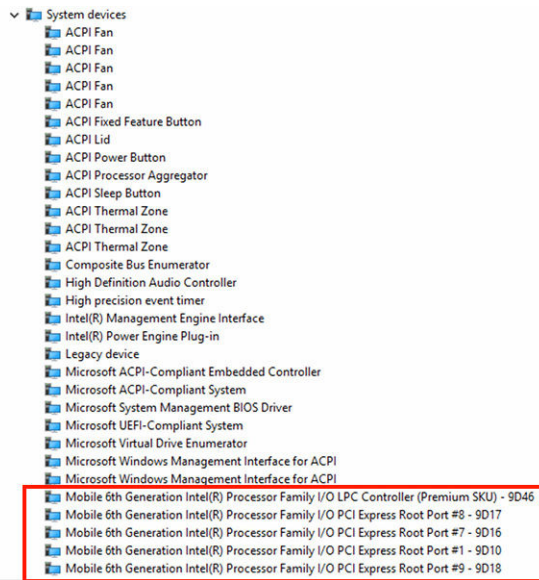
 **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノート PC のモデルを手動で確認してください。

4. **ドライバおよびダウンロード** をクリックします。
5. お使いのノート PC にインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
6. ページをスクロールダウンして **チップセット** を展開し、チップセットドライバを選択します。
7. **Download File (ファイルをダウンロード)** をクリックして、お使いのノート PC のチップセットドライバの最新バージョンをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバファイルを保存したフォルダに移動します。
9. チップセットドライバファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。


Windows 10 のデバイスマネージャでチップセットを識別する

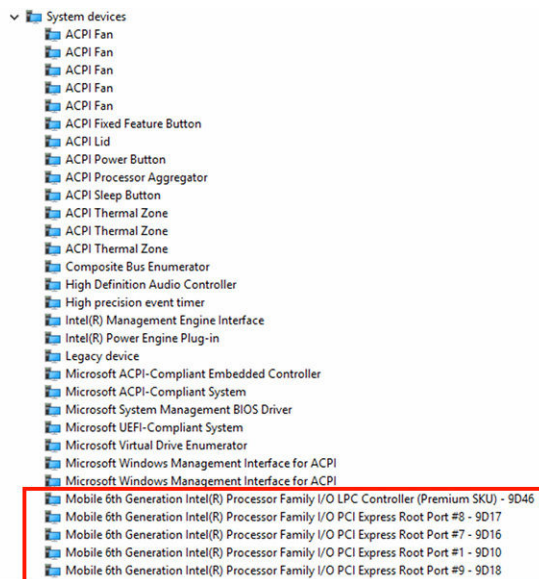
1. Windows 10 チャームバーですべての**設定**  をクリックします。
2. コントロールパネルから **デバイスマネージャ** を選択します。

3. システムデバイス を展開しチップセットを検索します。



Windows 8 のデバイスマネージャでチップセットを識別する


1. Windows 8.1 のチャームバーで 設定 を  クリックします。
2. コントロールパネル から デバイスマネージャ を選択します。
3. システムデバイス を展開しチップセットを検索します。



グラフィックオプション

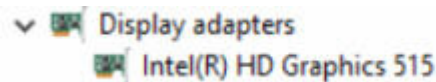
このノート PC には、Intel HD グラフィクス 515 グラフィックスチップセットが標準装備されています。

ドライバのダウンロード

1. ノート PC の電源を入れます。
2. www.dell.com/support にアクセスします。
3. **Product Support (製品サポート)** をクリックし、ノート PC のサービスタグを入力して、**Submit (送信)** をクリックします。
 **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノート PC のモデルを手動で確認してください。
4. **ドライバおよびダウンロード** をクリックします。
5. お使いのノート PC にインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
6. ページをスクロールダウンし、グラフィックドライバを選択してインストールします。
7. **Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックして、お使いのノート PC のグラフィックドライバをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、グラフィックドライバファイルを保存したフォルダに移動します。
9. グラフィックドライバファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

ディスプレイアダプタの識別

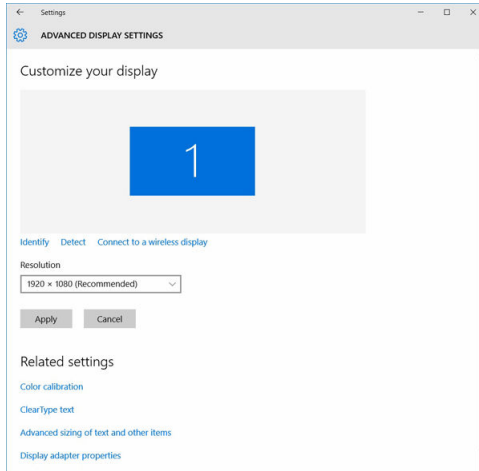
1. **検索チャーム** を開き **設定** を選択します。
2. 検索ボックスに **デバイスマネージャ** と入力して、左ペインから **デバイスマネージャ** をタップします。
3. **ディスプレイアダプタ** を展開します。



ディスプレイアダプタが表示されます。

画面解像度の変更

1. デスクトップ画面を長押しして、**Display Settings (ディスプレイ設定)** を選択します。
2. **ディスプレイの詳細設定** をタップまたはクリックします。
3. ドロップダウンリストから必要な解像度を選択して、**Apply (適用)** をタップします。



ディスプレイの回転

1. デスクトップ画面を長押しします。
サブメニューが表示されます。
2. **グラフィックオプション** → **回転**を選択し次のいずれかを選択します。
 - 通常回転する
 - 90度回転する
 - 180度回転する
 - 270度回転する



メモ: ディスプレイは次のキーの組み合わせを使用して回転させることもできます。


- <Ctrl> + <Alt> + 上矢印キー (通常回転する)
- 右矢印キー (90度回転する)
- 下矢印キー (180度回転する)
- 左矢印キー (270度回転する)

ディスプレイオプション

このノート PC には解像度が 1920 x 1080 (最大) の 11.57 インチ FHD と解像度が 3200 x 1800 (最大) の QHD が搭載されています。

Windows 10 での輝度調整

画面の自動輝度調整を有効または無効にするには、次の手順を実行します。


1. 画面の右端からスワイプインして、アクションセンターにアクセスします。
2. **すべての設定**  → **システム** → **ディスプレイ**の順にタップまたはクリックします。
3. **画面の自動輝度調整** スライダーを使用して、自動輝度調整を有効または無効にします。



メモ: **輝度レベル** のスライダーを使用して、手動で輝度を調整することもできます。


Windows 8 での輝度調整

画面の自動輝度調整を有効または無効にするには、次の手順を実行します。


1. 画面の右端からスワイプインして、チャームメニューにアクセスします。
2. **設定**  → **PC の設定変更** → **PC とデバイス** → **電源とスリープ** の順にタップまたはクリックします。
3. **画面の自動輝度調整** スライダーを使用して、自動輝度調整を有効または無効にします。


ディスプレイのクリーニング

1. 汚れまたはクリーニングが必要な場所がないか確認します。
2. マイクロファイバーの布を使用して、目に見える埃を取り除き、埃の粒子は優しく拭き取ります。
3. 適切なクリーニングキットを使用してディスプレイをきれいにし、鮮明できれいな元の状態を維持するようにします。

 **メモ:** 洗淨液はクリーニング用の布に吹き付け、直接画面に吹きかけないでください。

4. 画面を円を描くように優しく拭き、布を強く押し付けしないでください。


 **メモ:** 指で画面を強く押ししたり触れたりしないでください。指の跡や油染みが残る恐れがあります。

 **メモ:** 画面の液体をそのままにしないでください。

5. 過度の水分は画面を損傷する恐れがあるため、すべて拭き取ってください。
6. ディスプレイは電源を入れる前に水気を完全に拭き取ります。
7. 染みが落ちにくい場合は、ディスプレイがきれいになるまで上記の手順を繰り返します。


Windows 10 のタッチスクリーンの使用

次の手順に従って、タッチスクリーンを有効または無効にします。

1. チャームバーに移動して **すべて設定** をタップします .
2. **コントロールパネル** をタップします。
3. コントロールパネルで、**ペンと入力デバイス** をタップします。
4. **タッチ タブ** をタップします。
5. **入力デバイスとして指を使用** を選択してタッチスクリーンを有効にします。ボックスをクリアしてタッチスクリーンを無効にします。

Windows 8 のタッチスクリーンの使用

次の手順に従って、タッチスクリーンを有効または無効にします。


1. チャームバーに移動して **設定** をタップします .
2. **コントロールパネル** をタップします。
3. コントロールパネルで、**ペンと入力デバイス** をタップします。
4. **タッチ タブ** をタップします。

5. **入力デバイスとして指を使用** を選択してタッチスクリーンを有効にします。ボックスをクリアしてタッチスクリーンを無効にします。

外部ディスプレイデバイスへの接続

次の手順に従って、お使いのノート PC を外部ディスプレイデバイスに接続します。

1. プロジェクタがオンになっていることを確認して、プロジェクターケーブルをお使いのノート PC のビデオポートに差し込みます。
2. Windows ロゴ + <P> キーを押します。
3. 次のいずれかのモードを選択します。
 - PC 画面のみ
 - 重複
 - 拡張
 - セカンドスクリーンのみ


 **メモ:** 詳細については、お使いのディスプレイデバイスに同梱のマニュアルを参照してください。

Realtek ALC3266–CG Waves MaxxAudio Pro コントローラ

このノート PC は Realtek ALC3266–CG Waves MaxxAudio Pro コントローラを内蔵しています。Windows デスクトップおよびノート PC 用に設計された高解像度オーディオコーデックです。

オーディオドライバのダウンロード

1. ノート PC の電源を入れます。
2. www.dell.com/support にアクセスします。
3. **Product Support (製品サポート)** をクリックし、ノートパソコンのサービスタグを入力し、**Submit (送信)** をクリックします。

 **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノート PC のモデルを手動で確認してください。

4. **ドライバおよびダウンロード** をクリックします。
5. お使いのノート PC にインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
6. ページを下にスクロールして、**オーディオ** を展開します。
7. オーディオドライバを選択します。
8. **Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックして、お使いのノート PC のオーディオドライバの最新バージョンをダウンロードします。
9. ダウンロードが完了したら、オーディオドライバファイルを保存したフォルダに移動します。
10. オーディオドライバファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

Windows 10 でオーディオコントローラを識別する


1. **検索チャーム** を開いて、**すべて設定** を選択します .
2. 検索ボックスに **デバイスマネージャ** と入力して、左ペインから **デバイスマネージャ** を選択します。
3. **サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ** を展開します。
オーディオコントローラが表示されます。

表 1. Windows 10 でオーディオコントローラを識別する

| インストール前 | インストール後 |
|---|--|
|  |  |

Windows 8 でオーディオコントローラを識別する


1. 検索チャームを開き、設定を選択します .
2. 検索ボックスに デバイスマネージャ と入力して、左ペインから デバイスマネージャ を選択します。
3. サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラを展開します。
オーディオコントローラが表示されます。

表 2. Windows 8 でオーディオコントローラを識別する

| インストール前 | インストール後 |
|---|--|
|  |  |

オーディオ設定の変更

1. 検索チャームを開き、検索ボックスにデルオーディオと入力します。
2. 左ペインからデルオーディオユーティリティを起動します。

WLAN カード

このノート PC は、Intel Dual Band Wireless AC 8260 WLAN カードをサポートしています。

安全起動画面のオプション

| オプション | 説明 |
|------------------------------|---|
| Secure Boot Enable | このオプションは、 安全起動 機能を有効または無効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) • Enabled (有効) デフォルト設定 : Enabled (有効) |
| Expert Key Management | システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。 Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • PK • KEK • db |

オプション

説明

- dbx

Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、**PK、KEK、db、および dbx** の関連オプションが表示されます。このオプションは次のとおりです。

- **Save to File (ファイルに保存)** – ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。
- **Replace from File (ファイルから置き換え)** – 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと置き換えます。
- **Append from File (ファイルから追加)** – ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。
- **Delete (削除)** – 選択したキーを削除します。
- **Reset All Keys (すべてのキーをリセット)** – デフォルト設定にリセットします。
- **Delete All Keys (すべてのキーを削除)** – すべてのキーを削除します。




メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。

ハードドライブのオプション

このノート PC は M.2 SATA ドライブと M.2 NVMe ドライブをサポートしています。


Windows 10 でハードドライブを識別する

1. Windows 10 のチャームバーで**すべての設定**を  タップまたはクリックします。
2. **コントロールパネル** をタップまたはクリックし、**デバイスマネージャ** を選択して **ディスクドライブ** を展開します。

ハードドライブは**ディスクドライブ**の下にリストされています。



Windows 8 でハードドライブを識別する

1. Windows 8 のチャームバーで**設定**を  タップまたはクリックします。
2. **コントロールパネル** をタップまたはクリックし、**デバイスマネージャ** を選択して **ディスクドライブ** を展開します。

ハードドライブは**ディスクドライブ**の下にリストされています。

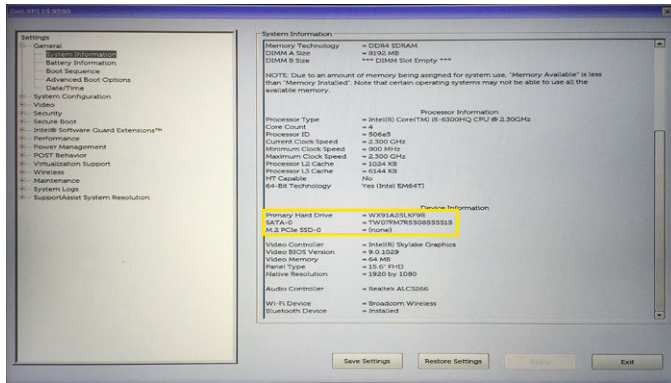


BIOS セットアップの起動

1. ノート PC の電源を入れます (または再起動します)。
2. Dell のロゴが表示されたら、次のいずれかのアクションを実行し BIOS セットアッププログラムを起動します。

- キーボードあり – 「BIOS セットアップを起動」メッセージが表示されるまで、<F2> をタップします。起動選択メニューを起動するには、<F12> をタップします。
- キーボードなし – **F12 起動選択**メニューが表示されたら、ボリュームダウンボタンを押して BIOS セットアップを起動します。起動選択メニューを起動するには、ボリュームアップボタンを押します。

ハードドライブは、**全般**グループの下の**システム情報**の下にリストされています。



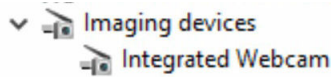
カメラ機能

このノート PC には画像解像度が 1280 x 720（最大）の前面カメラが搭載されています。

 **メモ:** カメラは LCD の左下隅にあります。

Windows 10 のデバイスマネージャでカメラを識別する

1. **検索** ボックスにデバイスマネージャと入力し、タップして開始します。
2. デバイスマネージャで**イメージングデバイス**を展開します。



Windows 8 のデバイスマネージャでカメラを識別する

1. デスクトップインターフェースからチャームバーを開きます。
2. **コントロールパネル**を選択します。
3. **デバイスマネージャ**を選択し、**イメージングデバイス**を展開します。

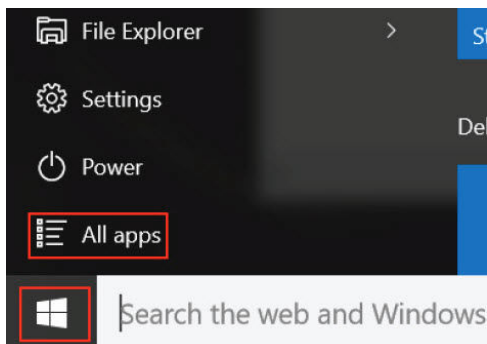


カメラの起動

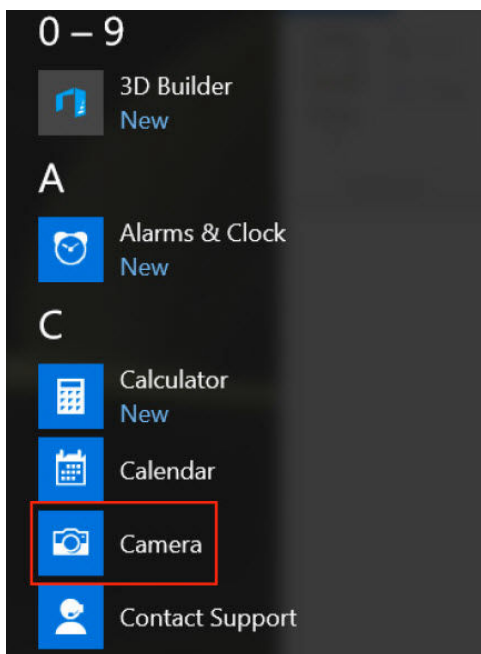
カメラを起動するには、カメラを使用するアプリケーションを開きます。たとえば、ノート PC に同梱されている Dell Webcam Central ソフトウェア、または Skype ソフトウェアをタップすると、カメラがオンになります。同様に、インターネットでチャット中にアプリケーションが Web カメラにアクセスするように要求すると、Web カメラがオンになります。

カメラアプリを起動する

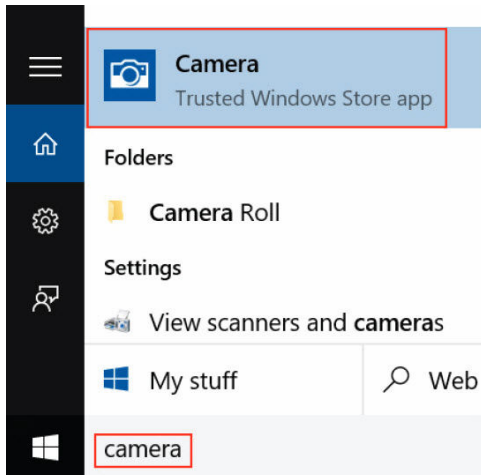
1. **Windows** ボタンをタップまたはクリックし、**すべてのアプリ** を選択します。



2. アプリリストから **カメラ** を選択します。




3. **カメラ** アプリがアプリリストにない場合は、検索します。




メモリの機能

このノート PC では、メモリ（RAM）はシステム基板の一部です。このノート PC は 1600 MHz までの 4-16 GB LPDDR3 メモリをサポートしています。

 **メモ:** メモリがシステム基板に内蔵されているため、個別のモジュールとしてアップグレードすることはできません。テクニカルサポートが、メモリが問題の原因となっていると判断した場合は、システム基板を交換します。

Windows 10 でシステムメモリを確認する

1. **Windows** ボタンをタップし、**すべて設定**  → **システム** を選択します。
2. **システム** で **バージョン情報** をタップします。

Windows 8 でシステムメモリを識別する

1. デスクトップから **チャームバー** を開きます。
2. **コントロールパネル** を選択して **システム** を選択します。

セットアップでのシステムメモリの確認

1. ノート PC の電源を入れます（または再起動します）。
2. Dell のロゴが表示されたら次のいずれかのアクションを実行します。
 - キーボードあり – 「BIOS セットアップを起動」メッセージが表示されるまで、<F2> をタップします。起動選択メニューを起動するには、<F12> をタップします。
 - キーボードなし – **F12 起動選択**メニューが表示されたら、ボリュームダウンボタンを押して BIOS セットアップを起動します。起動選択メニューを起動するには、ボリュームアップボタンを押します。
3. 左ペインで **設定** → **全般** → **システム情報** を選択します。
メモリ情報が右ペインに表示されます。

ePSA を使用したメモリのテスト

1. ノート PC の電源を入れます（または再起動します）。
2. Dell のロゴが表示されたら次のいずれかのアクションを実行します。
 - キーボードあり – <F2> を押します。
 - キーボードなし – 画面に Dell のロゴが表示されたら、**Volume Up (ボリュームアップ)** ボタンを長押しします。F12 起動選択メニューが表示されたら、起動メニューから **Diagnostics (診断)** を選択して <Enter> を押します。

ノート PC で Preboot System Assessment (PSA) が開始します。

 **メモ:** タイミングを逃してオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまった場合は、デスクトップが表示されるまで待ちます。ノート PC の電源を切ってもう一度やり直してください。

Intel チップセットドライバ

Intel チップセットドライバがすでにノート PC にインストールされているかどうかを確認します。

表 3. Intel チップセットドライバ

| インストール前 | インストール後 |
|--|---|
|  |  |

Intel HD グラフィックスドライバ

Intel HD グラフィックスドライバがすでにノート PC にインストールされているかどうかを確認します。

表 4. Intel HD グラフィックスドライバ

| インストール前 | インストール後 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ▼ Display adapters <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Basic Display Adapter ▼ Sound, video and game controllers <ul style="list-style-type: none"> High Definition Audio Device High Definition Audio Device | <ul style="list-style-type: none"> ▼ Display adapters <ul style="list-style-type: none"> Intel(R) HD Graphics 515 ▼ Sound, video and game controllers <ul style="list-style-type: none"> Intel(R) AVStream Camera 2500 Intel(R) Display Audio Realtek High Definition Audio(SST) |

Realtek HD オーディオドライバ

Realtek オーディオドライバがすでにノート PC にインストールされているかどうかを確認します。

表 5. Realtek HD オーディオドライバ

| インストール前 | インストール後 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ▼ Audio inputs and outputs <ul style="list-style-type: none"> Microphone (High Definition Audio Device) Speakers (High Definition Audio Device) ▼ Sound, video and game controllers <ul style="list-style-type: none"> High Definition Audio Device Intel(R) Display Audio | <ul style="list-style-type: none"> ▼ Audio inputs and outputs <ul style="list-style-type: none"> Microphone Array (Realtek High Definition Audio(SST)) Speakers / Headphones (Realtek High Definition Audio(SST)) ▼ Sound, video and game controllers <ul style="list-style-type: none"> Intel(R) AVStream Camera 2500 Intel(R) Display Audio Realtek High Definition Audio(SST) |

セットアップユーティリティ

Boot Sequence

起動順序ではシステムセットアップで定義された起動デバイスの順序および起動ディレクトリを特定のデバイス (例: オプティカルドライブまたはハードドライブ) にバイパスすることができます。パワーオンセルフテスト(POST)中に、Dell のロゴが表示されたら、以下の操作が可能です:

- <F2> を押してセットアップユーティリティにアクセスする
- <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下の通りです:

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ
 - **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- オプティカルドライブ
- 診断
 - **メモ:** **Diagnostics (診断)** を選択すると **ePSA 診断** 画面が表示されます。

起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。


ナビゲーションキー

以下の表ではセットアップユーティリティのナビゲーションキーを示しています。


- **メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 6. ナビゲーションキー

| キー | ナビゲーション |
|---------|--|
| 上矢印 | 前のフィールドに移動します。 |
| 下矢印 | 次のフィールドへ移動します。 |
| <Enter> | 選択したフィールドに値を入力するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動することができます。 |
| スペースバー | ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。 |
| タブ | 次のフォーカス対象領域に移動します。 |

| キー | ナビゲーション |
|-------|---|
| |  メモ: 標準グラフィックブラウザ用に限られます。 |
| <Esc> | メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で <Esc> を押すと、未保存の変更を保存するプロンプトが表示され、システムが再起動します。 |
| F1 | セットアップユーティリティのヘルプファイルを表示します。 |

セットアップユーティリティのオプション

 **メモ:** お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般的な画面オプション

このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。

| オプション | 説明 |
|----------------------------|---|
| System Information | このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> System Information (システム情報) : BIOS Version (BIOS バージョン)、Service Tag (サービスタグ)、Asset Tag (アセットタグ)、Ownership Tag (所有者タグ)、Ownership Date (購入日)、Manufacture Date (製造日)、Express Service Code (エクスプレスサービスコード) が表示されます。 Memory Information (メモリ情報) : Memory Installed (搭載容量)、Memory Available (使用可能な容量)、Memory Speed (速度)、Memory Channels Mode (チャンネルモード)、Memory Technology (テクノロジー) が表示されます。 Processor Information (プロセッサ情報) : Processor Type (種類)、Core Count (コア数)、Processor ID (ID)、Current Clock Speed (現在のクロックスピード)、Minimum Clock Speed (最小クロックスピード)、Maximum Clock Speed (最大クロックスピード)、Processor L2 Cache (プロセッサ L2 キャッシュ)、Processor L3 Cache (プロセッサ L3 キャッシュ)、HT Capable (HT 対応)、64-Bit Technology (64 ビットテクノロジー) が表示されます。 Device Information (デバイス情報) : SATA-0、M.2 PCIe SSD-0、Video Controller (ビデオコントローラ)、Video BIOS Version (ビデオ BIOS バージョン)、Video Memory (ビデオメモリ)、Panel Type (パネルのタイプ)、Native Resolution (ネイティブ解像度)、Audio Controller (オーディオコントローラ)、WiFi Device (WiFi デバイス)、WiGig Device (WiGig デバイス)、Cellular Device (セルラーデバイス)、Bluetooth Device (Bluetooth デバイス) が表示されます。 |
| Battery Information | バッテリー状態とコンピュータに接続している AC アダプタの種類を表示します。 |
| Boot Sequence | コンピュータが OS の検出を試みる順序を変更することができます。 <ul style="list-style-type: none"> Windows 起動マネージャまたは UEFI レガシーまたは UEFI |
| Boot Options | このオプションでは、レガシーオプション ROM をロードできます。 Enable UEFI Network Stack (UEFI ネットワークスタックを有効にする) はデフォルトで無効に設定されています。 |

| オプション | 説明 |
|-----------|--------------------|
| Date/Time | 日付と時刻を変更することができます。 |

システム設定画面のオプション

| オプション | 説明 |
|--------------------------------------|--|
| SATA Operation | <p>内蔵 SATA ハードドライブコントローラを設定することができます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) • AHCI • RAID On (RAID オン) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 |
| Drives | <p>オンボードの SATA ドライブを設定することができます。すべてのドライブがデフォルトで有効に設定されています。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SATA-1 • M.2 PCI-e SSD-0 |
| SMART Reporting | <p>このフィールドにより、システム起動時に内蔵ドライブのハードドライブエラーを報告するかどうかを決めます。このテクノロジーは、SMART (Self Monitoring Analysis and Reporting Technology) 仕様の一部です。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable SMART Reporting (SMART レポートを有効にする) |
| USB/Thunderbolt Configuration | <p>これはオプションの機能です。</p> <p>このフィールドでは、内蔵 USB コントローラを設定します。Boot Support (起動サポート) が有効の場合、システムはあらゆる種類の USB 大容量ストレージデバイス (HDD、メモリーキー、フロッピー) から起動することができます。</p> <p>USB ポートが有効の場合、このポートに接続されたデバイスは有効で、OS で利用できます。</p> <p>USB ポートが無効の場合、OS はこのポートに接続されたデバイスを認識できません。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) (デフォルトで有効) • Enable External USB Port (外部 USB ポートを有効にする) (デフォルトで有効) • Enable Thunderbolt Port (Thunderbolt ポートを有効にする) (デフォルトで有効) • Enable Thunderbolt Boot Support (Thunderbolt ポートを有効にする) これはオプションの機能です。 • 常に Dell をドッキングできます。これはオプションの機能です。 • Enable Thunderbolt (and PCIe behind TBT) Pre-boot (Thunderbolt (および TBT の後ろの PCIe) Pre-boot を有効にする) |

オプション

説明



メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。

USB PowerShare

このフィールドでは、USB PowerShare 機能の動作を設定します。このオプションで、USB PowerShare ポートから保存されているシステムバッテリー電源を使用して外部デバイスを充電することができます。デフォルトでは **Enable USB PowerShare (USB PowerShare を有効にする)** は無効に設定されています。

Audio

このフィールドでは、内蔵オーディオコントローラを有効または無効に設定します。デフォルトでは **Enable Audio (オーディオを有効にする)** オプションが選択されています。オプションは次のとおりです。

- Enable Microphone (マイクを有効にする) (デフォルトで有効)
- Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする) (デフォルトで有効)

Keyboard Illumination

このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを選択できます。キーボードの輝度レベルは 0 ~ 100% の間で設定できます。オプションは次のとおりです。

- Disabled (無効)
- Dim (暗い)
- Bright (明るい) (デフォルトで有効)

Keyboard Backlight Timeout on AC

この機能は、AC アダプタがシステムに接続されている場合に、キーボードバックライトのタイムアウト値を定義します。メインのキーボードライト機能には影響しません。キーボードライトは、さまざまな照明レベルを引き続きサポートします。このフィールドは、バックライトが有効になっている場合に影響があります。オプションは次のとおりです。

- 5 秒
- 10 秒 – このオプションはデフォルトで選択されています
- 15 秒
- 30 秒
- 1 分間
- 5 分
- 15 分
- なし

Keyboard Backlight Timeout on Battery


キーボードバックライトタイムアウトはバッテリーオプションで暗くなります。メインのキーボードライト機能には影響しません。キーボードライトは、さまざまな照明レベルを継続的にサポートします。このフィールドは、バックライトが有効になっている場合に影響があります。オプションは次のとおりです。

- 5 秒
- 10 秒 – このオプションはデフォルトで選択されています
- 15 秒
- 30 秒




| | |
|------------------------------|---|
| オプション | 説明 |
| | <ul style="list-style-type: none"> • 1 分間 • 5 分 • 15 分 • なし |
| Touchscreen | このフィールドでは、タッチスクリーンを有効にするか無効にするかを設定します。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 |
| Unobtrusive Mode | このオプションが有効になっている場合、Fn+F7 を押すと、システム内のすべてのライトとサウンドエミッションがオフになります。通常の操作を再開するには、Fn+F7 を再度押します。このオプションはデフォルトでは無効になっています。 |
| Miscellaneous Devices | 各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> • Enable Camera (カメラを有効にする) – デフォルトで有効 • Enable Secure Digital(SD) Card (SD (Secure Digital) カードを有効にする) • SD (Secure Digital)カード読み取り専用モード |



ビデオ画面オプション


| | |
|-----------------------|---|
| オプション | 説明 |
| LCD Brightness | 電源 (バッテリーおよび AC) に応じてディスプレイの輝度を設定することができます。 |

 **メモ:** ビデオ設定はビデオカードがシステムに取り付けられている場合にのみ表示されます。

セキュリティ画面オプション

| | |
|---------------------------------|---|
| オプション | 説明 |
| Admin Password | <p>管理者 (Admin) パスワードを設定、変更、または削除することができます。</p> <p> メモ: システムパスワードまたはハードドライブパスワードを設定する前に、管理者パスワードを設定する必要があります。管理者パスワードを削除すると、システムパスワードとハードドライブパスワードは自動的に削除されます。</p> <p> メモ: パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定 : Not set (未設定)</p> |
| System Password | <p>システムパスワードを設定、変更、または削除できます。</p> <p> メモ: パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定 : Not set (未設定)</p> |
| Mini Card SSD-0 Password | ミニカードのソリッドステートドライブ (SSD) のパスワードを設定、変更、または削除できます。 |

| オプション | 説明 |
|--------------------------------------|---|
| | <p> メモ: パスワードが正常に変更されると、すぐに反映されます。</p> <p>デフォルト設定 : Not set (未設定)</p> |
| Strong Password | <p>強力なパスワードを設定するオプションを常に強制することができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Strong Password (強力なパスワードを有効にする) は選択されません。</p> |
| | <p> メモ: Strong Password (強力なパスワード) を有効に設定すると、管理者パスワードとシステムパスワードに大文字と小文字をそれぞれ少なくとも 1 文字使い、8 文字以上の長さにしなければなりません。</p> |
| Password Configuration | <p>管理者パスワードとシステムパスワードの最小および最大文字数を設定することができます。</p> |
| Password Bypass | <p>システムパスワードと内蔵 HDD パスワードが設定されている場合に、これらのパスワードをスキップする許可を有効または無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) • Reboot bypass (再起動のスキップ) <p>デフォルト設定 : Disabled (無効)</p> |
| Password Change | <p>管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードとハードドライブパスワードへの許可を、有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワード変更を許可する) が選択されています。</p> |
| Non-Admin Setup Changes | <p>管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決めることができます。無効に設定すると、セットアップオプションは管理者パスワードによってロックされます。</p> |
| UEFI Capsule Firmware Updates | <p>このシステムで UEFI カプセルアップデートパッケージから BIOS をアップデートできるかどうかをコントロールできます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable UEFI Capsule Firmware Updates (UEFI カプセルファームウェアのアップデートを有効にする) が選択されています。</p> |
| TPM 1.2/2.0 Security | <p>POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TPM On (TPM オン) (デフォルトで有効) • Clear (クリア) • 有効なコマンドの PPI をスキップ • 無効なコマンドの PPI をスキップ • Activate (アクティブ) • Deactivate (非アクティブ) |

| | |
|-----------------------------|--|
| オプション | 説明 |
| |  メモ: TPM1.2/2.0 をアップグレードまたはダウングレードするには、TPM ラッパーツール（ソフトウェア）をダウンロードします。 |
| Computrace | <p>オプションである Computrace ソフトウェアをアクティブまたは無効にすることができます。オプションは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Deactivate（非アクティブ） • Disable（無効） • Activate（アクティブ） <p> メモ: Activate（アクティブ）および Disable（無効） オプションでは、機能を永久的にアクティブまたは無効にします。その後の変更はできません。</p> <p>デフォルト設定：Deactivate（非アクティブ）</p> |
| CPU XD Support | <p>プロセッサの Execute Disable（実行無効） モードを有効にすることができます。</p> <p>Enable CPU XD Support（CPU XD サポートを有効にする）（デフォルト）</p> |
| OROM Keyboard Access | <p>起動中にホットキーを使用して、Option ROM Configuration（オプション ROM 設定）画面を表示するオプションを設定することができます。オプションは以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enabled（有効） • One Time Enable（1 回のみ有効） • Disabled（無効） <p>デフォルト設定：Enabled（有効）</p> |
| Admin Setup Lockout | <p>管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を防止することができます。</p> <p>デフォルト設定：Disabled（無効）</p> |

安全起動画面のオプション

| | |
|------------------------------|---|
| オプション | 説明 |
| Secure Boot Enable | <p>このオプションは、安全起動機能を有効または無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disabled（無効） • Enabled（有効） <p>デフォルト設定：Enabled（有効）</p> |
| Expert Key Management | <p>システムが Custom Mode（カスタムモード）の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。Enable Custom Mode（カスタムモードを有効にする） オプションはデフォルトで無効に設定されています。オプションは次のとおりです。</p> |

オプション

説明

- PK
- KEK
- db
- dbx

Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、**PK、KEK、db、および dbx** の関連オプションが表示されます。このオプションは次のとおりです。

- **Save to File (ファイルに保存)** – ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。
- **Replace from File (ファイルから置き換え)** – 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと置き換えます。
- **Append from File (ファイルから追加)** – ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。
- **Delete (削除)** – 選択したキーを削除します。
- **Reset All Keys (すべてのキーをリセット)** – デフォルト設定にリセットします。
- **Delete All Keys (すべてのキーを削除)** – すべてのキーを削除します。



メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。

Intel Software Guard Extensions 画面オプション

オプション

説明

Intel SGX Enable

このフィールドは、メイン OS のコンテキストでコードを実行したり、機密情報を保管したりするためのセキュアな環境を設定します。オプションは次のとおりです。

- Disabled (無効)
- Enabled (有効)

デフォルト設定 : Disabled (無効)

Enclave Memory Size

このオプションで、**SGX Enclave Reserve メモリサイズ** を設定します。オプションは次のとおりです。

- 32 MB
- 64 MB
- 128 MB

パフォーマンス画面のオプション

オプション

説明

Multi Core Support

このフィールドは、プロセスが 1 つまたはすべてのコアを有効にするかどうかを指定します。コアを追加することで一部のアプリケーションのパフォーマンスが向上します。このオプションは、デフォルトで有効に設定されています。プロセッサのマルチ

| | |
|-----------------------------|---|
| オプション | 説明 コアサポートの有効または無効にすることができます。取り付けられているプロセッサは2つまたは4つのコアをサポートします。マルチコアサポートを有効にした場合は、2つまたは4つのコアが有効になります。マルチコアサポートを無効にした場合は、1つのコアが有効になります。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> • Enable Multi Core Support (マルチコアサポートを有効にする) デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。 |
| Intel SpeedStep | Intel SpeedStep 機能を有効または無効にすることができます。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> • Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする) デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。 |
| C-States Control | 追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> • C States デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。 |
| Intel TurboBoost | プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> • Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする) デフォルト設定：オプションは有効に設定されています。 |
| Hyper-Thread Control | ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) • Enabled (有効) デフォルト設定：Enabled (有効) |
| DDR Frequency | このオプションでは、DDR 周波数を 1600 または 1866 MHz に変更します。デフォルトでは、1600 が選択されています。 |

電力管理画面のオプション

| | |
|---------------------|--|
| オプション | 説明 |
| AC Behavior | AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：Wake on AC (ウェイクオン AC) は選択されていません。 |
| Auto On Time | コンピュータが自動的に起動する時刻を設定することができます。オプションは次の通りです。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) |

オプション

説明

- Every Day (毎日)
- Weekdays (平日)
- Select Days (選択した日)

デフォルト設定 : Disabled (無効)

USB Wake Support

USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。



メモ: この機能は、AC 電源アダプタを接続している場合のみ有効になります。スタンバイモード中に AC 電源アダプタを取り外した場合、バッテリーの電力を節約するため、セットアップユーティリティはすべての USB ポートからの電力を移します。

- Enable USB Wake Support
- Wake on Trinity Dock - このオプションがデフォルトで設定されています。

Wake on LAN/WLAN

LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。

- Disabled (無効)
- WLAN Only (WLAN のみ)

デフォルト設定 : Disabled (無効)

Peak Shift

このオプションでは、1 日のピーク時の AC 消費を最小限に抑えることができます。このオプションを有効にすると AC が搭載されていてもバッテリーでのみ作動しません。

- Enable Peak Shift (ピークシフトを有効にする)

デフォルト設定 : Disabled (無効)

Advanced Battery Charge Configuration

このオプションでは、バッテリーの性能を最大限に高めることができます。標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を最大限に高めます。


- Enable Advanced Battery Charge Mode (アドバンスドバッテリー充電モードを有効にする)

デフォルト設定 : Disabled (無効)


Primary Battery Charge Configuration

バッテリーの充電モードを選択することができます。オプションは以下のとおりです。

- 適応
- 標準 - 標準速度でバッテリーをフル充電します。
- 高速充電 - デルの高速充電テクノロジーを使用してより短い時間でバッテリーを充電します。このオプションは、デフォルトで有効に設定されています。

| | |
|--------------|--|
| オプション | 説明 |
| | <ul style="list-style-type: none"> • Primarily AC use (主に AC を使用) • カスタム <p>Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。</p> <p> メモ: すべての充電モードがすべてのバッテリーに使用できるわけではありません。このオプションを有効にするには、Advanced Battery Charge Configuration (アドバンストバッテリー充電設定) オプションを無効にします。</p> |

POST 動作画面のオプション

| | |
|--------------------------|--|
| オプション | 説明 |
| Adapter Warnings | <p>特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定 : Enable Adapter Warnings (アダプタ警告を有効にする)</p> |
| Keypad (Embedded) | <p>内蔵キーボードに組み込まれているキーパッドを有効にする 2 つの方法のうち、1 つを選択することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Fn Key Only (Fn キーのみ) : このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • By Numlock <p> メモ: セットアップの起動中は、このオプションの影響はありません。セットアップは、Fn Key Only (Fn キーのみ) モードで作動します。</p> |
| Numlock Enable | <p>コンピュータの起動時に Numlock オプションを有効にすることができます。</p> <p>Enable Network (ネットワークを有効にする) このオプションはデフォルトで有効に設定されています。</p> |
| Fn Key Emulation | <p><Scroll Lock> キーを使用して、<Fn> キーの機能をシミュレートするオプションを設定することができます。</p> <p>Enable Fn Key Emulation (Fn キーのエミュレートを有効にする) (デフォルト)</p> |
| Fn Lock Options | <p>ホットキーの組み合わせ <Fn>+<Esc> で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準およびセカンダリ機能の間で切り替えることができます。このオプションを無効にする場合は、キーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。使用可能なオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Fn Lock (Fn ロック) このオプションはデフォルトで選択されています。 • ロックモード無効 / 標準 • ロックモード有効 / セカンダリ |
| MEBx Hotkey | <p>システムの起動時に、MEBx ホットキー機能を有効にするかどうかを指定できます。</p> |


| | |
|--------------------------------|--|
| オプション | 説明 デフォルト設定：Enable MEBx Hotkey (MEBx ホットキーを有効にする) |
| Fastboot | 一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化することができます。オプションは次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> • Minimal (最小) • Thorough (完全) (デフォルト) • Autoz (自動) |
| Extended BIOS POST Time | プレブート遅延を追加で作成することができます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 0 秒 このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • 5 秒 • 10 秒 |

仮想化サポート画面のオプション

| | |
|--------------------------|---|
| オプション | 説明 |
| Virtualization | Intel Virtualization Technology を有効または無効にすることができます。 Enable Intel Virtualization Technology (インテル・バーチャライゼーション・テクノロジーを有効にする) (デフォルト) |
| VT for Direct I/O | ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。 Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用 VT を有効にする) – デフォルトで有効に設定されています。 |
| Trusted Execution | このオプションでは、Intel Trusted Execution Technology によって提供される付加的なハードウェア機能を Measured Virtual Machine Monitor (MVMM) が利用できるようにするかどうかを指定します。この機能を使用するには、TPM Vitalization Technology、および Virtualization technology for DirectI/O (ダイレクト I/O 用仮想化テクノロジー) を有効にする必要があります。 Trusted Execution – デフォルトで無効に設定されています。 |

ワイヤレス画面オプション

| | |
|------------------------|---|
| オプション | 説明 |
| Wireless Switch | ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。オプションは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • WWAN • GPS (WWAN モジュール) |

| | |
|-------------------------------|--|
| オプション | <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> • WLAN/WiGig • Bluetooth <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p> <p> メモ: WLAN および WiGig は一緒に有効または無効にできますが、個別に有効または無効にすることはできません。</p> |
| Wireless Device Enable | <p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • WWAN/GPS • WLAN/WiGig • Bluetooth <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p> |

メンテナンス画面のオプション



| | |
|-----------------------|--|
| オプション | 説明 |
| Service Tag | お使いのコンピュータのサービスタグが表示されます。 |
| Asset Tag | アセットタグがまだ設定されていない場合、システムアセットタグを作成することができます。このオプションはデフォルトでは設定されていません。 |
| BIOS Downgrade | ここで、システムファームウェアの以前のレビジョンへのフラッシングを制御します。 |
| Data Wipe | このフィールドで、ユーザーはすべての内蔵ストレージデバイスからデータを安全に消去することができます。以下は影響を受けるデバイスです。 <ul style="list-style-type: none"> • 内蔵 M.2 SDD |
| BIOS Recovery | このフィールドで、ユーザーのプライマリハードドライブまたは外付け USB キーのリカバリファイルから特定の破損した BIOS 状況をリカバリできます。 <ul style="list-style-type: none"> • ハードドライブからの BIOS のリカバリ (デフォルトで有効) |

システムログ画面のオプション

| | |
|-----------------------|---|
| オプション | 説明 |
| BIOS Events | セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。 |
| Thermal Events | セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。 |
| Power Events | セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。 |

BIOS のアップデート


システム基板の交換時、またはアップデートが可能な場合は、BIOS（セットアップユーティリティ）をアップデートされることをお勧めします。ラップトップの場合は、お使いのコンピュータのバッテリーがフル充電されていてコンセントに接続されていることを確認してください。

1. コンピュータを再起動します。
 2. [Dell.com/support](https://www.dell.com/support) にアクセスしてください。
 3. サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、**Submit（送信）** をクリックします。
 -  **メモ:** サービスタグを見つけるには、**Where is my Service Tag?（サービスタグの検索）** をクリックします。
 -  **メモ:** サービスタグが見つからない場合は、**Detect My Product（マイプロダクトの検出）** をクリックします。画面上の説明に進みます。
 4. サービスタグの検索または検出ができない場合、コンピュータの製品カテゴリをクリックします。
 5. リストから **Product Type（製品のタイプ）** を選択します。
 6. お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポートページ**が表示されます。
 7. **Get drivers（ドライバを取得）** をクリックし、**View All Drivers（すべてのドライバを表示）** をクリックします。

Drivers and Downloads（ドライバおよびダウンロード）ページが開きます。
 8. ドライバおよびダウンロード画面で、**オペレーティングシステム**ドロップダウンリストから **BIOS** を選択します。
 9. 最新の BIOS ファイルを選んで **Download File（ファイルのダウンロード）** をクリックします。

アップデートが必要なドライバを分析することもできます。お使いの製品でこれを行うには、**Analyze System for Updates（アップデートが必要なシステムの分析）** をクリックし、画面の指示に従います。
 10. **ダウンロード方法を以下から選択してください** ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File（ファイルのダウンロード）** をクリックします。

ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
 11. ファイルをコンピュータに保存する場合は、**Save（保存）** をクリックします。
 12. **Run（実行）** をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。

画面の指示に従います。
-  **メモ:** BIOS のバージョンを3つを超えるリビジョンにアップデートしないことをお勧めします。BIOS を 1.0 から 7.0 にアップデートする場合は、まずバージョン 4.0 をインストールしてからバージョン 7.0 をインストールします。

システムパスワードおよびセットアップパスワード


システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。


パスワードの種類 説明


システムパスワード システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。

パスワードの種類 説明

セットアップパスワード お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。


 **注意:** パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** お使いのシステムは、出荷時にシステムパスワードとセットアップパスワードの機能が無効に設定されています。

システムパスワードおよびセットアップパスワードの割り当て

パスワードステータスが**ロック解除**の場合に限り、新しいシステムパスワードやセットアップパスワードの設定、または既存のシステムパスワードやセットアップパスワードの変更が可能です。パスワードステータスが**ロック**に設定されている場合、システムパスワードは変更できません。

 **メモ:** パスワードジャンプの設定を無効にすると、既存のシステムパスワードとセットアップパスワードは削除され、コンピュータへのログオン時にシステムパスワードを入力する必要がなくなります。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはセットアップユーティリティ画面で、**システムセキュリティ**を選択し、<Enter> を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面で **パスワードステータス**が **ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **System Password (システムパスワード)** を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。

以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。

- パスワードの文字数は 32 文字までです。
- 0 から 9 までの数字を含めることができます。
- 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
- 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、(")、(+), (,), (-), (.), (/), (:), (|), (\), (|), (^)。

プロンプトが表示されたら、システムパスワードを再度入力します。

4. 入力したシステムパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
5. **Setup Password (セットアップパスワード)** を選択してシステムパスワードを入力し、<Enter> または <Tab> を押します。

セットアップパスワードの再入力を求めるメッセージが表示されます。


6. 入力したセットアップパスワードをもう一度入力し、**OK** をクリックします。
7. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
8. <Y> を押して変更を保存します。

コンピュータが再起動します。

既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードの削除または変更

既存のシステムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除または変更する前に**パスワード状態**がロック解除(システムセットアップで)になっていることを確認します。**パスワード状態**がロックされている場合、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更することはできません。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面または**セットアップユーティリティ**画面で、**システムセキュリティ**を選択し、<Enter> を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面で**パスワードステータス**が**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **System Password (システムパスワード)** を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
4. **Setup Password (セットアップパスワード)** を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
 **メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力してください。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合、プロンプトが表示されたら削除を確認してください。
5. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. <Y> を押して変更を保存し**セットアップユーティリティ**を終了します。
コンピュータが再起動します。


診断


コンピューターに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前に ePSA 診断を実行してください。診断プログラムを実行する目的は、特別な装置を使用せず、データが失われる心配をすることなくコンピューターのハードウェアをテストすることです。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

ePSA（強化された起動前システムアセスメント）診断

ePSA 診断（システム診断としても知られている）ではハードウェアの完全なチェックを実施します。ePSA には BIOS が埋め込まれており、内部的に BIOS によって起動されます。埋め込まれたシステム診断では以下のことが可能な特定のデバイスまたはデバイスグループにオプションのセットを提供します：

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示


 **注意:** システム診断は、お使いのコンピューターをテストする場合にのみ使用してください。このプログラムを他のコンピューターで使用すると、無効な結果やエラーメッセージが発生する場合があります。

 **メモ:** 特定のデバイスについてはユーザーの対話が必要なテストもあります。診断テストを実行する際にコンピューター端末の前に常にいなければなりません。


1. コンピューターの電源を入れます。
2. コンピューターが起動し、Dell のロゴが表示されたら <F12> キーを押します。
3. 起動メニュー画面で、**診断** オプションを選択します。
ePSA 起動前システムアセスメントウィンドウが表示され、コンピューター内で検出された全デバイスがリストアップされます。診断が検出された全デバイスのテストを開始します。
4. 特定のデバイスで診断テストを実行するには、<Esc> を押して **はい** をクリックし、診断テストを中止します。
5. 左のパネルからデバイスを選択し、**テストの実行**をクリックします。
6. 問題がある場合、エラーコードが表示されます。
 エラーコードをメモしてデルに連絡してください。

デバイスステータスライト


表 7. デバイスステータスライト




| アイコン | 名前 | 説明 |
|---|------------|---|
|  | 電源ステータスライト | コンピュータに電源を入れると点灯し、コンピュータが省電力モードの場合は点滅します。 |

これは、システムに問題が発生している可能性があるときの診断ツールとして役立ちます。

 **メモ:** 電源ステータスライトの位置はシステムによって異なる場合があります。

技術仕様

 **メモ:** 提供される内容は地域により異なる場合があります。コンピュータの構成に関する詳細は：

- Windows 10 の場合は、スタート  → 設定 → システム → バージョン情報 の順にクリックまたはタップします。
- Windows 8.1 および Windows 8 の場合は、スタート  → PC 設定 → PC とデバイス → PC 情報の順にクリックまたはタップします。
- Windows 7 の場合は、スタート  をクリックして **マイコンピュータ** を右クリックし、**プロパティ** を選択します。

システム仕様

| 機能 | 仕様 |
|-------------|-----------------|
| チップセット | Skylake |
| DRAM バス幅 | 64 ビット |
| フラッシュ EPROM | SPI 128 メガビット |
| PCIe バス | 100 MHz |
| 外付けバスの周波数 | DMI 3.0 (8GT/秒) |

プロセッサの仕様

| 機能 | 仕様 |
|-------------------|-------------------------|
| タイプ | Intel Core m3 / m5 / m7 |
| Intel Smart キャッシュ | 3 MB および 4 MB |

メモリの仕様

| 機能 | 仕様 |
|---------|--------|
| メモリのタイプ | LPDDR3 |

| 機能 | 仕様 |
|-------|-------|
| 最小メモリ | 4 GB |
| 最大メモリ | 16 GB |

オーディオの仕様

| 機能 | 仕様 |
|-------------|-----------------------------------|
| タイプ | 4 チャンネル HD オーディオ |
| コントローラ | Realtek ALC3246 |
| ステレオ変換 | 24 ビット (デジタル変換、アナログ変換) |
| 内蔵インタフェース | HD オーディオ |
| 外付けインタフェース | マイク入力、ステレオヘッドフォン、およびヘッドセットコンボコネクタ |
| スピーカー | 2 台 |
| 内蔵スピーカーアンプ | 2 W (RMS) / チャンネル |
| ボリュームコントロール | ホットキー |

ビデオの仕様

| 機能 | 仕様 |
|--------------|----------------------|
| タイプ | システム基板内蔵 |
| UMA コントローラ | Intel HD グラフィックス 515 |
| 外部ディスプレイサポート | micro-HDMI (1) |

カメラの仕様

| 機能 | 仕様 |
|-------------|------------------------|
| HD パネルの解像度 | 1280 x 720 ピクセル (非タッチ) |
| ビデオ解像度 (最大) | 1280 x 720 ピクセル |
| 対角視野角 | 74° |

通信の仕様

| 機能 | 仕様 |
|------------------|--|
| Wireless (ワイヤレス) | 内蔵 WLAN (ワイヤレスローカルエリアネットワーク) および WWAN (ワイヤレスワイドエリアネットワーク) <ul style="list-style-type: none">Bluetooth 4.1 LE |

ポートおよびコネクタの仕様

| 機能 | 仕様 |
|-------------------------------|--|
| オーディオ | マイク / ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ (1) |
| ビデオ | micro-HDMI |
| USB | <ul style="list-style-type: none">PowerShare 機能付き USB 3.0 (1)Thunderbolt 3 をサポートする type C ポート (2) |
| メモ리카ードリーダー (microSD) | 1 |
| マイクロサブスクライバ識別モジュール (uSIM) カード | 1 |
| スマートカード | オプション |
| RFID | オプション |
| 指紋リーダー | オプション |

ディスプレイの仕様

| 機能 | 仕様 |
|--------------|-----------------------|
| FHD アンチグレア : | |
| 高さ | 293.76 mm (11.57 インチ) |
| 幅 | 165.24 mm (6.51 インチ) |
| 対角線 | 337.82 mm (13.3 インチ) |
| 最大解像度 | 1920 x 1080 |
| リフレッシュレート | 60 Hz |
| 最大視野角 (横) | ± 80° |

| 機能 | 仕様 |
|--------------|-----------------------|
| 最大視野角（縦） | ± 80° |
| ピクセルピッチ | 0.153 mm |
| QHD アンチグレア : | |
| 高さ | 293.76 mm (11.57 インチ) |
| 幅 | 165.24 mm (6.51 インチ) |
| 対角線 | 337.82 mm (13.3 インチ) |
| 最大解像度 | 3200 x 1800 |
| リフレッシュレート | 60 Hz |
| 最大視野角（横） | ± 80° |
| 最大視野角（縦） | ± 80° |
| ピクセルピッチ | 0.092 mm |

キーボードの仕様

| 機能 | 仕様 |
|-----|--|
| キー数 | <ul style="list-style-type: none"> • 米国 : 82 キー • イギリス : 83 キー • ブラジル : 84 キー • 日本 : 86 キー |

タッチパッドの仕様

| 機能 | 仕様 |
|--------|-------------------|
| 動作領域 : | |
| X 軸 | 99.50 mm |
| Y 軸 | 51.00 mm 53.00 mm |

バッテリーの仕様

| 機能 | 仕様 |
|-----|---|
| タイプ | <ul style="list-style-type: none"> • 34 WHr (4 セル) エントリ • 43 WHr (4 セル) アップセル |

| 機能 | 仕様 |
|----------------------|--|
| 34 WHr (4 セル) | |
| エントリ : | |
| 長さ | 267 mm (10.5 インチ) |
| 高さ | 4.35 mm (0.17 インチ) |
| 幅 | 58.5 mm (2.3 インチ) |
| 重量 | 165.0 g (0.43 ポンド) |
| 電圧 | 7.6 VDC |
| 43 WHr (4 セル) | |
| アップセル : | |
| 長さ | 267 mm (10.5 インチ) |
| 高さ | 6.25 mm (0.24 インチ) |
| 幅 | 58.5 mm (2.3 インチ) |
| 重量 | 200 g (0.66 ポンド) |
| 電圧 | 7.6 VDC |
| 温度範囲 : | |
| 動作時 | <ul style="list-style-type: none"> • 充電 : 0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F) • 放電 : 0°C ~ 70°C (32°F ~ 158°F) |
| 非動作時 | -20°C ~ 65 °C (-4°F ~ 149°F) |
| コイン型電池 | 3 V CR2032 コイン型リチウム電池 |

AC アダプタの仕様

| 機能 | 仕様 |
|------------|---------------------------|
| タイプ | 45 W (Type C) |
| 入力電圧 | 100 ~ 240 VAC |
| 入力電流 (最大) | 1.3 A |
| 入力周波数 | 50 ~ 60 Hz |
| 出力電力 | 45 W |
| 出力電流 | 2.25 A |
| 定格出力電圧 | 20 VDC |
| 重量 | 0.17 kg (0.37 ポンド) |
| 寸法 | 0.87 x 2.17 x 3.42 |
| 温度範囲 (動作時) | 0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F) |

| 機能 | 仕様 |
|-------------|------------------------------|
| 温度範囲 (非動作時) | -40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F) |


物理的仕様

| 機能 | 仕様 |
|-----------------------------------|---------------------|
| 前面の高さ | 9.86 mm (0.39 インチ) |
| 背面の高さ | 14.32 mm (0.56 インチ) |
| 幅 | 304.8 mm (12 インチ) |
| 奥行き | 210.5 mm (8.29 インチ) |
| 最小重量 (34Whr バッテリー搭載タ ッチ非対応) | 1.12 kg (2.48 ポンド) |

環境仕様

| 温度 | 仕様 |
|------------------|---|
| 動作時 | 0°C ~ 60°C (32°F ~ 140°F) |
| 保管時 | -51°C ~ 71°C (59°F ~ 159°F) |
| 相対湿度 (最大) | 仕様 |
| 動作時 | 10% ~ 90% (結露しないこと) |
| 保管時 | 5% ~ 95% (結露しないこと) |
| 高度 (最大) : | 仕様 |
| 動作時 | -15.2 m ~ 3,048 m (-50 ~ 10,000 フィート) 0°C ~ 35°C |
| 非動作時 | -15.24 m ~ 10,668 m (-50 ~ 35,000 フィート) |
| 空気中浮遊汚染物 質レベル | G2 またはそれ未満 (ISA-S71.04-1985 の定義による) |

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国 / 地域** の選択 ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。